

■ 平成 29 年版出題基準による出題科目一覧 ■

問題番号	科目
午前問題	
1	一. 人体(歯・口腔を除く)の構造と機能
2	
3	
4	
5	
6	
7	二. 歯・口腔の構造と機能
8	
9	
10	
11	
12	
13	三. 疾病の成り立ち及び回復過程の促進
14	
15	
16	
17	
18	
19	四. 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	五. 歯科衛生士概論
32	
33	
34	
35	
36	
37	六. 臨床歯科医学
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	七. 歯科予防処置論
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	
72	
73	

問題番号	科目
74	七. 歯科予防処置論
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	
101	
102	
103	
104	
105	
106	
107	
108	
109	
110	
午後問題	
1	一. 人体(歯・口腔を除く)の構造と機能
2	
3	
4	
5	
6	
7	二. 歯・口腔の構造と機能
8	
9	
10	
11	
12	
13	三. 疾病の成り立ち及び回復過程の促進
14	
15	
16	
17	
18	
19	四. 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	五. 歯科衛生士概論
32	
33	
34	
35	
36	
37	六. 臨床歯科医学
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	
72	
73	

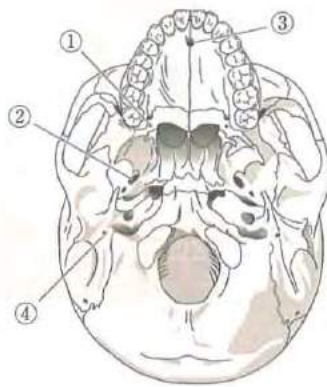
問題番号	科目
37	六. 臨床歯科医学
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	
72	
73	
74	七. 歯科予防処置論
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	
101	
102	
103	
104	
105	
106	
107	
108	
109	
110	
午後問題	
1	一. 人体(歯・口腔を除く)の構造と機能
2	
3	
4	
5	
6	
7	二. 歯・口腔の構造と機能
8	
9	
10	
11	
12	
13	三. 疾病の成り立ち及び回復過程の促進
14	
15	
16	
17	
18	
19	四. 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	五. 歯科衛生士概論
32	
33	
34	
35	
36	
37	六. 臨床歯科医学
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	
72	
73	

■ 解答一覧表 ■

午前問題			
問題	正解	問題	正解
1	d	56	b
2	d	57	a、d
3	c	58	d
4	a	59	c、d
5	d	60	d
6	d	61	c
7	a	62	a、d
8	c	63	a、b
9	c	64	c、d
10	c	65	a、c
11	a	66	a、c
12	b	67	c
13	d	68	b、d
14	d	69	a
15	a	70	b、d
16	b	71	a、d
17	a	72	a、b
18	d	73	b、c
19	b、d	74	a、d
20	d	75	b、d
21	a、b	76	d
22	b、d	77	b、d
23	d	78	b
24	c、d	79	a
25	b	80	c、d
26	b、c	81	d
27	b、d	82	d
28	c	83	d
29	c、d	84	b
30	b	85	a
31	b	86	a
32	a	87	c
33	b、c	88	c
34	b、d	89	a
35	b	90	c
36	a、d	91	b
37	b、d	92	b、d
38	a、d	93	c
39	a	94	a、d
40	b	95	a
41	d	96	c
42	a、c	97	b、d
43	b、d	98	c
44	b、d	99	b、d
45	d	100	b
46	b、c	101	a、c
47	d	102	b
48	b	103	c
49	b、d	104	c、d
50	a	105	b
51	a、b	106	d
52	c	107	a、b
53	a	108	d
54	a、c	109	c
55	a	110	c、d

午後問題			
問題	正解	問題	正解
1	d	56	b
2	b	57	d
3	c	58	b
4	d	59	c、d
5	c	60	c、d
6	b	61	a
7	d	62	c
8	b	63	a、d
9	a	64	a、d
10	c	65	d
11	d	66	b
12	b	67	b、d
13	a	68	c
14	c	69	c
15	b	70	a、b
16	d	71	b、d
17	c、d	72	b、c
18	a、c	73	d
19	a	74	b、c
20	d	75	a、c
21	b	76	b
22	b、c	77	a、b
23	c、d	78	b
24	c、d	79	c、d
25	a、d	80	a
26	d	81	b、d
27	b	82	c、d
28	b	83	c
29	c	84	d
30	a、d	85	c、d
31	c	86	a、d
32	a	87	a、b
33	b、c	88	d
34	b、c	89	a、b
35	b	90	a、c
36	b、d	91	b、c
37	b、c	92	b
38	a、d	93	b
39	d	94	c
40	b、d	95	d
41	b	96	b、c
42	c	97	d
43	b	98	a、b
44	b、c	99	b、d
45	c	100	a、c
46	c	101	c
47	c、d	102	b
48	c	103	c
49	d	104	a
50	a	105	b
51	b	106	b
52	b	107	b
53	c、d	108	a
54	c	109	b
55	a、d	110	c

[問題 1] 外頭蓋底の模式図を示す。



顔面神経が通過するのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶解剖学

選択肢考察

- × a ①は小口蓋孔で小口蓋神経が通過する。
- × b ②は卵円孔で下顎神経が通過する。
- × c ③は切歯孔で鼻口蓋神経が通り、上顎切歯の歯肉に分布する。
- d ④は茎乳突孔で顔面神経が通過する。表情筋の運動などを支配する。

正解 d

📖 要点集 281:P5

[問題 2] 弾性軟骨をもつのはどれか。

- a 気管
- b 肋骨
- c 下顎頭
- d 喉頭蓋

▶解剖学

選択肢考察

- × a 気管は硝子軟骨からなる。
- × b 肋骨に存在する軟骨(肋軟骨)は硝子軟骨からなる。
- × c 下顎頭表面を覆う軟骨は線維軟骨からなる。
- d 喉頭蓋軟骨や耳介軟骨などは弾性軟骨からなる。

正解 d

[問題 3] 口腔内写真(別冊午前 No. 1)を別に示す。

矢印で示すのはどれか。

- a 人中
- b 頬小帯
- c 上唇小帯
- d 遊離歯肉

▶解剖学

選択肢考察

- × a 人中は鼻から上唇に伸びる縦の溝である。
- × b 頬小帯は頬粘膜と歯槽粘膜の間にある小帯である。
- c 前庭口蓋を仕切るように、正中に口唇粘膜と歯槽粘膜の間に1本のヒダがあることから上唇小帯である。
- × d 遊離歯肉は、歯と付着していない辺縁歯肉である。

正解 c

No. 1



[問題 4] 頭蓋側面の写真(別冊午前 No. 2)を別に示す。

矢印で示すのはどれか。

- a 筋突起
- b 関節突起
- c 乳様突起
- d 歯槽突起

▶解剖学

選択肢考察

- a 矢印は下顎枝の前方にある突起を指しており筋突起である。
- × b 関節突起は下顎枝の後方に存在する突起である。
- × c 乳様突起は側頭骨の後下方にある突起である。
- × d 歯槽突起は上顎骨の下面から前方に凸面をなす突起である。

正解 a

📖 要点集 281:P6

No. 2



〔問題 5〕 生体内でコレステロールから合成されるのはどれか。

- a ヒスタミン
- b メラトニン
- c ノルアドレナリン
- d ステロイドホルモン

▶生理学

選択肢考察

- × a ヒスタミンは、**肥満細胞**や**好塩基球**の顆粒中に含まれ、侵害刺激により遊離されアレルギー症状を引き起こす物質で、アミノ酸であるヒスチジンから合成される。
- × b メラトニンは脳の**松果体**から分泌される生理活性アミンで、**概日リズム**を調節する。トリプトファンからセロトニンを経て合成される。
- × c ノルアドレナリンは、**交感神経**末端から神経伝達物質として分泌される物質で、チロシンから合成される。
- d ステロイドホルモンやビタミンDは、コレステロールから合成される。

正解 d

📖 要点集 281:P53

〔問題 6〕 唾液緩衝能検査の結果に最も関係するのはどれか。

- a Ca^{2+}
- b Mg^{2+}
- c SCN^-
- d HCO_3^-

▶生理学

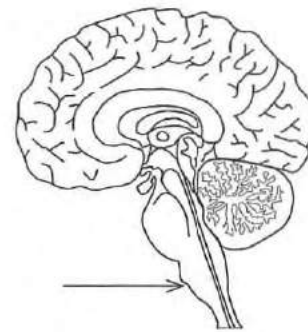
選択肢考察

- × a、× b Ca^{2+} 、 Mg^{2+} は唾液の**分泌機構**に関与する。
- × c SCN^- は過酸化水素に反応し、抗菌因子である**チオシアン酸イオン**を形成する。
- d 唾液には酸またはアルカリを中和する働きがあり、これを**緩衝作用**という。重碳酸塩 (HCO_3^-) が最も重要な緩衝系である。

正解 d

📖 要点集 281:P24

〔問題 7〕 脳の正中断面の模式図を示す。



矢印が示す部位に存在するのはどれか。

- a 嚔下中枢
- b 言語中枢
- c 摂食中枢
- d 体温調節中枢

▶生理学

選択肢考察

- a 矢印は**延髄**をさしている。延髄には**呼吸中枢**や**嚔下中枢**、**嘔吐中枢**、**唾液分泌中枢**が存在する。
- × b 言語中枢は**大脳**に存在する。
- × c、× d 体温調節中枢、摂食中枢は**視床下部**に存在する。

正解 a

📖 要点集 281:P2

〔問題 8〕 ストレスがかかったときに分泌が増えるのはどれか。

- a インスリン
- b カルシトニン
- c コルチゾール
- d オキシトシン

▶生理学

選択肢考察

- × a インスリンは**膵臓**のランゲルハンス島B細胞から分泌されるホルモンである。血中グルコース濃度が上昇したときに分泌され、血糖値が低下する。
- × b カルシトニンは**甲状腺**傍濾胞細胞から分泌されるホルモンである。血中カルシウム濃度が上昇したときに分泌され、血中カルシウム濃度が低下する。
- c コルチゾールは**副腎皮質**から分泌される糖質コルチコイドで、ストレス時に分泌される。コルチゾールには抗ストレス作用のほか、抗炎症作用、糖新生の促進、骨吸収促進などの作用がある。
- × d オキシトシンは**下垂体後葉**から分泌されるホルモンで、子宮の収縮や射乳を促す作用をもつ。

正解 c

📖 要点集 281:P22

[問題 9] 良性腫瘍で認められるのはどれか。

- a 浸潤
- b 転移
- c 再発
- d 疼痛

▶病理学

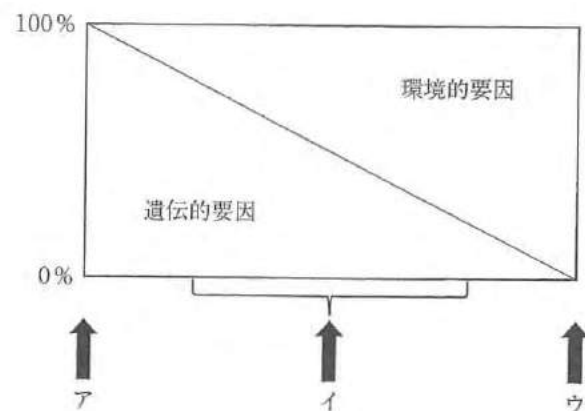
選択肢考察

- × a、× b 浸潤や転移が認められるのは**悪性腫瘍**である。
- c 再発は**良性腫瘍**でもあり得る。
- × d 腫瘍自体に疼痛はなく、腫瘍が発育し神経を圧迫した際に疼痛がみられる。

正解 c

📖 要点集 281:P47

[問題 10] 疾患の発症要因の概念図を示す。



アに相当する疾患はどれか。

- a 外傷
- b 舌癌
- c 血友病 A
- d 2型糖尿病

▶病理学

選択肢考察

- × a 外傷は一部不注意な性格であることなど内因的な要素もあるが、ほとんどは**環境的要因**によるものであり、ウに該当する。
- × b 舌癌は舌癌になりやすい**遺伝的要因**と口腔内への刺激などの**環境的要因**の複合要因により発症するため、イに該当する。
- c 血友病 A は**遺伝的要因**によるものであり、アに該当する。
- × d 2型糖尿病は**遺伝的要因**と生活習慣などの**環境的要因**の複合要因により発症するため、イに該当する。

正解 c

[問題 11] 血便を伴う下痢を引き起こす病原体はどれか。

- a 赤痢菌
- b コレラ菌
- c ロタウイルス
- d コロナウイルス

▶微生物学

選択肢考察

- a 赤痢菌の感染による細菌性赤痢では、膿性粘血便がみられる。また、赤痢アメーバによるアメーバ赤痢ではイチゴゼリー状粘血便がみられる。
- × b コレラ菌の感染では猛烈な「米のとぎ汁様」白色下痢便を呈する。
- × c ロタウイルスは乳幼児下痢症の原因ウイルスである。ロタウイルス感染症では、白色下痢便を呈する。
- × d コロナウイルスは SARS (重症急性呼吸器症候群) や MERS (中東呼吸器症候群) の原因ウイルスとして注目される RNA ウイルスである。ヒトに感染した場合、呼吸器症状(肺炎)が主で、一般に消化管症状はみられない。

正解 a

[問題 12] 歯肉縁上プラークを構成する細菌で最も多いのはどれか。

- a 通性嫌気性グラム陰性桿菌
- b 通性嫌気性グラム陽性球菌
- c 偏性嫌気性グラム陰性桿菌
- d 偏性嫌気性グラム陽性桿菌

▶微生物学

選択肢考察

- × a、× c、× d *Actinomyces* などの桿菌はプラークの成熟化に伴い増加する。また、口腔スピロヘータなどの運動性菌や紡錘状菌、偏性嫌気性菌などは歯肉縁下プラークに多く、歯肉縁上プラークではプラークの成熟化に伴い増加する。なお、初期プラークでは *Neisseria* や *Nocardia* などの好気性グラム陰性球菌も検出される。
- b 歯肉縁上プラークは、歯面に形成されたペリクル上に *Streptococcus gordonii*、*Streptococcus sanguinis* などの通性嫌気性グラム陽性球菌が付着することから形成が始まる。

正解 b

📖 要点集 281:P40

〔問題 13〕 78歳の女性。口の中の疼痛を主訴として来院した。2か月前から口の中がピリピリするという。1年前から寝たきりで介護施設に入所している。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 3 A)と口腔粘膜からの剝離物の塗抹標本像(別冊午前 No. 3 B)を別に示す。

疑われるのはどれか。

- a 白板症
- b 天疱瘡
- c 扁平苔癬
- d カンジダ症

▶微生物学

No. 3 A



B



選択肢考察

- × a 白板症は前癌病変であり、基本的に口腔粘膜から剝離はできない。
- × b 天疱瘡は水泡を形成する自己免疫疾患であり、病理組織像では上皮下水疱がみられる。
- × c 扁平苔癬は前癌状態で口腔粘膜からの剝離はできない。また病理組織像では上皮結合組織に帯状のリンパ球が浸潤する。
- d 口蓋に白苔がみられ、粘膜から剝離でき、口の中がピリピリする症状よりカンジダ症と考えられる。また、病理組織像よりカンジダ菌が認められる。

正解 d

📖 要点集 281:P.38

〔問題 14〕 肝臓のミクロソーム分画にあり、薬物の代謝に関与するのはどれか。

- a 胆汁
- b アルブミン
- c グロブリン
- d シトクロム P-450

▶薬理学

選択肢考察

- × a 胆汁は脂質の乳化を行いリパーゼと反応しやすくすることで脂質の消化吸収に重要な役割を果たす。
- × b アルブミンは肝臓で合成されるタンパクで、血液中に多く含まれる。血漿膠質浸透圧の維持に重要である。
- × c 血清中にはαグロブリン、βグロブリン、γグロブリンが存在し、そのうちγグロブリンは生体防御機構の一翼を担っている免疫グロブリン(抗体)を含んでいる。
- d シトクロム P-450 は、肝臓のミクロソーム分画に存在する薬物代謝酵素(酸化酵素)である。基質特異性が低く、多くの薬物代謝に関与している。

正解 d

📖 要点集 281:P.62

〔問題 15〕 急性菌性感染症に対して抗菌薬を投与した。

この医療行為はどれか。

- a 原因療法
- b 再生療法
- c 緩和療法
- d 補充療法

▶薬理学

選択肢考察

- a 抗菌薬は、急性菌性感染症の原因となる菌種に対し薬効を発現するものであり、原因療法である。
- × b 再生療法とは、失われた組織を再生させる治療法である。
- × c 緩和療法(緩和ケア)とは、「生命を脅かす疾患による問題に直面する患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的、心理的、社会的な問題、さらにスピリチュアルな問題を早期に発見し、的確な評価と処置を行うことによって、苦痛を予防したり和らげることで、QOLを改善する行為である」としている(WHO)。
- × d 補充療法とは、内分泌疾患や血液疾患に対し、不足している成分(ホルモン、血液因子製剤など)を補う治療法のことである。

正解 a

📖 要点集 281:P.63

〔問題 16〕 自浄作用が最も大きい歯の部位はどれか。

- a 歯頸部
- b 豊隆部
- c 隣接面部
- d 小窩裂溝部

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 歯頸部は平滑であるが、最大豊隆部から歯頸部にかけては狭窄しており、歯肉も存在しているため、自浄作用が及びづらい。
- b 豊隆部は平滑で口腔内に突出しているため、最も自浄作用が及びやすい部位である。
- × c、× d 隣接面部、小窩裂溝部は隣接歯や隆線、溝に囲まれ、自浄性が悪く、食片圧入などが生じやすい。

正解 b

〔問題 17〕 う蝕予防の効果でエビデンスレベルが最も高いのはどれか。

- a フッ化物の応用
- b 定期的な歯科検診
- c 水流圧洗浄器の使用
- d デンタルフロスの使用

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a う蝕予防について、最も高いレベルでのエビデンス (科学的根拠) があることが広く知られているのは、フッ化物の応用のみである。
- × b、× c、× d 定期的な歯科検診、水流圧洗浄器の使用、デンタルフロスの使用、甘味食品摂取量のコントロールについては、う蝕予防における臨床疫学的に有効であることの根拠が乏しいとされている。

正解 a

〔問題 18〕 う蝕予防に用いられるのはどれか。

- a 10%フッ化物配合歯磨剤
- b 1%フッ化第一スズ塗布液
- c 0.1%リン酸酸性フッ化物溶液
- d 0.2%フッ化ナトリウム洗口液

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 歯磨剤へのフッ化物配合は、フッ化物濃度として1,000ppm (0.1%) を上限としている。
- × b フッ化第一スズはフッ化物歯面塗布法に用いる薬剤で、8%フッ化第一スズを用いる。
- × c リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液 (APF) は2%フッ化ナトリウム溶液である。
- d フッ化物洗口法は、毎日法と週1回法に大別され、週1回法では0.2%フッ化ナトリウム溶液を用いる。

正解 d

DH19:P490

〔問題 19〕 歯周病がリスクとなるのはどれか。2つ選べ。

- a 肺がん
- b 糖尿病
- c 白血病
- d 動脈硬化性疾患

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 歯周病により肺がんが発症、進行するという事実はない。
- b 歯周病と糖尿病は相互に影響を与える。そのため歯周病は糖尿病のリスク因子である。
- × c 白血病は歯周病の宿主関連全身性リスクファクターであるが、歯周病が白血病の発症や進行に影響は及ぼさない。
- d 歯周病による慢性炎症や歯周病原性細菌が、アテローム性動脈硬化症の進行に関与している。

正解 b、d

DH19:P286

〔問題 20〕 10歳の女兒。定期健診のため来院した。診査の結果、う蝕は認められなかった。歯垢染色後の口腔内写真 (別冊午前 No. 4) を別に示す。

口腔衛生指導を行うにあたり、適切なブラッシング法はどれか。

- a バス法
- b フォーンズ法
- c ローリング法
- d スクラッピング法

▶口腔衛生学

No. 4



選択肢考察

- × a 歯垢の付着は歯面全体に及んでおり、主にう蝕予防を考慮したブラッシング法を指導すべきであるため、バス法は適さない。
- × b フォーンズ法は容易なブラッシング法であり低年齢児には適するが、10歳であればスクラッピング法での指導が可能な年齢である。
- × c ローリング法は歯肉マッサージを主目的としたブラッシング法であり、本症例には適さない。
- d 歯垢を効率的に除去するためには、スクラッピング法の指導が適切である。

正解 d

DH19:P121

〔問題 21〕 健康日本21 (第二次) に記載されている Non Communicable Disease (NCD) に含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a がん
- b 糖尿病
- c 歯周病
- d 関節リウマチ

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a、b 我が国では、平成25年度から平成34年度まで「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動 (健康日本21 (第二次))」が推進されているが、その目標の1つとして生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底 (非感染性疾患 (NCD) の予防) がある。これは、がん、循環器疾患、糖尿病、COPD (慢性閉塞性肺疾患) に対処するため、食生活改善や運動習慣定着等による一次予防に重点を置いた対策を推進するとともに、合併症発症や症状の進展等の重症化予防に重点を置いた対策を推進することである。

正解 a、b

DH19:P147

[問題 22] 地域包括支援センターで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 責任主体は都道府県である。
- b 高齢者の権利擁護事業を行う。
- c 地域保健法に基づき設置される。
- d 原則として保健師を配置しなければならない。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 責任主体は市町村である。
- b 消費者被害や高齢者虐待等の権利擁護に関する相談の実施権利擁護事業とは、高齢者が、地域において、安心して尊厳のある生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点からの支援を行うもので、事業内容としては、成年後見制度の活用促進、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応、消費者被害の防止に関する諸制度を活用し、高齢者の生活の維持を図るものである。
- × c 介護保険法に基づいて設置される。
- d 原則として保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員を置くことが介護保険法で定められている。

正解 b、d

DH19:P186

[問題 23] 平成 28 年歯科疾患実態調査の調査対象となる元の調査はどれか。

- a 国勢調査
- b 患者調査
- c 国民生活基礎調査
- d 国民健康・栄養調査

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 国勢調査は、調査時において日本国内に常住している者について行われる基幹統計調査である。
- × b 患者調査は、全国の医療施設を利用する患者を対象として、病院の入院は二次医療圏別、病院の外来及び診療所は都道府県別に層化無作為抽出した医療施設を利用した患者を調査の客体とする。
- × c 国民生活基礎調査は、保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定することを目的としており、抽出方法は、国勢調査区を抽出単位とする層化集落抽出である。
- d 国民健康・栄養調査は、健康増進法に基づき、国民の身体の状態、栄養素等摂取量及び生活習慣の状態を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。平成 28 年歯科疾患実態調査は、「平成 28 年国民健康・栄養調査」で設定された地区（平成 22 年国勢調査の調査区から層化無作為抽出した全国計 475 地区）からさらに抽出した 150 地区内の満 1 歳以上の世帯員を対象としている。

正解 d

[問題 24] 院内感染対策で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 外因感染は対象としない。
- b 病院スタッフは対象外である。
- c 消毒・滅菌は対策の1つである。
- d 抗菌薬の適切な使用が重要である。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 体外から進入した微生物によって感染が起こるものが外因感染（外因性感染）である。当然、院内感染の対象となる。
- × b 医療従事者等が医療機関内において感染した感染症も院内感染である。
- c 院内感染とは、①医療機関において患者が原疾患とは別に新たに罹患した感染症、②医療従事者等が医療機関内において感染した感染症のことであり、病院感染（hospital-acquired infection）や医療関連感染（healthcare-associated infection）という表現も広く使用されている。
- d 抗菌薬の適正使用と他の感染対策との組合せにより、耐性菌の出現を抑制する。

正解 c、d

DH19:P638

[問題 25] 歯科診療後に感染性一般廃棄物となるのはどれか。

- a メス刃
- b 抜去歯
- c 注射針
- d ラバーダムシート

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a、× c、× d メス刃、注射針、ラバーダムシートは、感染性産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）である。
- b 抜去歯は、感染性一般廃棄物（特別管理一般廃棄物）である。

正解 b

DH19:P138

[問題 26] ワクチン投与により予防できるのはどれか。2つ選べ。

- a AIDS
- b 風疹
- c 麻疹
- d デング熱

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a AIDS は HIV による感染症であるが、有効なワクチンは今のところ存在していない。
- b、○ c 風疹、麻疹は MR ワクチンとして定期接種の対象である。
- × d デング熱は蚊に媒介されるウイルス感染症である。ワクチンは現在開発途上にあり、実用化されていない。

正解 b、c

要点集 281:P29

[問題 27] 生活保護で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 財源の半分は保険料である。
- b 申請に基づいて開始される。
- c 医療扶助は現金給付である。
- d 国民の生存権を保障している。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 全額一般租税を財源としている。
- b 都道府県知事、市長及び福祉事務所を管理する町村長が保護を決定する。
- × c 医療扶助は現物給付である。
- d 生活保護法は、日本国憲法第25条に規定する理念に基づき、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的としている。日本国憲法(第)25条では、国民には生存権があり、国家には生活保障の義務があることを明らかにしている。

正解 b、d

[問題 28] 歯科衛生士業務従事者届の届け出先はどれか。

- a 市町村長
- b 保健所長
- c 都道府県知事
- d 厚生労働大臣

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 市町村長ではない。
- × b 届け出先は保健所であるが、最終的に都道府県知事に届け出る。
- c 都道府県知事が歯科衛生士の状況を掌握する。
- × d 厚生労働大臣に届け出るのは医師、歯科医師、薬剤師である。

正解 c

[問題 29] 後期高齢者医療制度で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 任意加入である。
- b 運営主体は市町村である。
- c 原則75歳以上を対象とする。
- d 財源の一部を現役世代が支援する。

▶ 衛生学・公衆衛生学

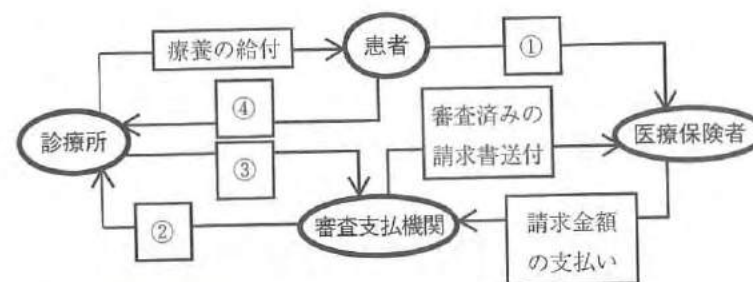
選択肢考察

- × a 後期高齢者医療制度は強制加入である。
- × b 後期高齢者医療制度は、都道府県を単位とする後期高齢者医療広域連合が保険者である。
- c 原則、後期高齢者医療制度では適用年齢(75歳以上)になると、現在加入している医療保険(国民健康保険、健康保険)を強制的に脱退させられ、後期高齢者だけの独立した本保険に組み入れられる。
- d 後期高齢者医療制度の財源構成割合は、患者負担を除き、公費(約5割)、現役世代からの支援(約4割)のほか、高齢者から広く薄く保険料(1割)を徴収している。

正解 c、d

DH19:P190

[問題 30] 保険診療の仕組みを図に示す。



「診療報酬の支払い」はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a ①は保険料の支払いである。
- b ②は診療報酬の支払いである。
- × c ③は診療報酬の請求である。
- × d ④は一部負担金の支払いである。

正解 b

[問題 31] 歯科衛生士法に定められた歯科衛生士の業務はどれか。

- a 冠の装着
- b 裏装材の貼付
- c 主訴の聞き取り
- d 矯正装置の装着

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- b 仮封、仮封材除去、裏装材の貼付、マトリックスの装着・除去、充填材の充填、充填材の研磨、矯正装置の除去は歯科診療補助の範囲である。

正解 b

DH19:P228

[問題 32] 要介護高齢者の医療面接で適切なのはどれか。

- a 一問一答で行う。
- b マスクを着用する。
- c 非言語的な表現を避ける。
- d 多くの情報を一度に伝える。

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- a、× d 高齢者は認知能力の低下や、物忘れが多くなるなど心身の機能の低下が起きてくることから、自分のペースではなく高齢者のペースに合わせ、多くの情報を一度に伝えず一問一問質問をし、せかさないうで“答えを待つ”ことが大切である。
- × b コミュニケーションの具体的配慮としてマスクを着用しての面接は不適切である。
- × c 医療面接の大原則として非言語的コミュニケーションも大切にする。

正解 a

[問題 33] 歯科診療所でバリアフリーに該当するのはどれか。2つ選べ。

- a 待合室に雑誌を置く。
- b 入り口を自動ドアにする。
- c 診療室に介添え者を入れる。
- d 診療室入り口に段差を設ける。

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a 待合室に雑誌を置くことで精神的緊張感を緩和させることが期待できるが、バリアフリーに該当するものではない。
- b 入り口を自動ドアにすることで手で扉を開けることがなくなる。
- c 診療室に介添え者を入れることで、移動の際の危険回避や精神的障壁の回避を図ることができる。
- × d 診療室の入り口ばかりではなく、段差をなくすことがバリアフリーとなる。

正解 b、c

[問題 34] 個人識別における年齢推定に有用な情報はどれか。2つ選べ。

- a 矮小歯
- b 歯の咬耗
- c Angle の分類
- d 歯根象牙質露出

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a 過剰歯の存在や矮小歯など歯の形態異常の存在は個人識別に有用である。
- b 歯の咬耗は前歯の切縁、犬歯の尖頭、臼歯の咬頭などにみられ、年齢の推定に重要な役割を果たす。
- × c 咬合関係は個人差が大きく、また、加齢による変化が少ないため、個人識別に有用である。
- d 歯槽骨は10年で0.5~1mm程度、生理的に吸収し、歯肉は10年で1~2mm程度、生理的に退縮すると考えられる。従って、歯根象牙質の露出の程度により年齢推定を行うことが可能である。

正解 b、d

[問題 35] 摂食嚥下機能のスクリーニング検査はどれか。

- a 篩分法
- b 咳テスト
- c 嚥下造影
- d 嚥下内視鏡検査

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a 篩分法はピーナッツなどを咀嚼、粉碎させ、粒子の大きさの分布状態から咀嚼能率を算定する方法である。摂食嚥下機能のスクリーニング検査には適さない。
- b 咳テストは霧化した咳誘発物質を吸入させ、咳反射の有無を評価するテストで、不顕性誤嚥の有無を判別するスクリーニングテストである。
- × c 嚥下造影は摂食嚥下機能の精密検査に用いられる。
- × d 嚥下内視鏡検査も摂食嚥下機能の精密検査として用いられている。

正解 b

DH19:P629

[問題 36] 封鎖性が良好で手用器具での除去が容易な仮封材はどれか。2つ選べ。

- a 水硬性セメント
- b テンポラリーストップピング
- c グラスアイオノマーセメント
- d 酸化亜鉛ユージノールセメント

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- a 水硬性セメントは、水(唾液)に触れることで硬化する仮封材である。練成充填器で窩洞、開拓部に填塞する。封鎖性がよく、また歯質接着性がないため、手用器具で除去することができる。
- × b テンポラリーストップピングは熱可塑性の仮封材である。火炎で軟化したテンポラリーストップピングを窩洞に圧接填塞する。着脱は容易であるが、封鎖性に劣る。
- × c グラスアイオノマーセメントには歯質接着性があり封鎖性はよいが、手用器具での除去は困難である。
- d 酸化亜鉛ユージノールセメントは、酸化亜鉛粉末とユージノールを練和し、練成充填器で窩洞内に填塞する。窩壁に密接し封鎖性に優れる。除去は熱した練成充填器を当てることで、探針により容易に除去できる。

正解 a、d

[問題 37] 貧血の検査項目はどれか。2つ選べ。

- a HbA1c
- b 血色素量
- c 出血時間
- d ヘマトクリット値

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a HbA1cは糖尿病の検査項目である。
- b 血色素量とは血中のヘモグロビン量で、貧血の検査項目の1つである。
- × c 出血時間は出血性素因を調べる検査項目である。
- d ヘマトクリット値とは血液100mL中に占める赤血球容積の百分比のことで、貧血の検査項目の1つである。

正解 b、d

DH19:P733

[問題 38] レジンセメントとの接着に有効なコンポジットレジンインレー内面処理はどれか。2つ選べ。

- a サンドブラスト処理
- b ハイドロキノン塗布
- c 次亜塩素酸ナトリウム塗布
- d シランカップリング剤塗布

▶ 保存修復学

選択肢考察

- a サンドブラスト処理することで、機械的維持力が増強される。
- × b ハイドロキノンは重合禁止剤として床用レジンに添加されているもので、塗布はしない。
- × c 次亜塩素酸ナトリウムは有機質溶解剤であり、内面処理には使用しない。
- d シランカップリング剤は、レジンとセラミックスとの結合の際の表面処理剤に使用する。

正解 a、d

DH19:P655

[問題 39] 37歳の女性。下顎右側臼歯部の一過性の冷水痛を主訴として来院した。セラミックインレー修復を行うことになった。完成したインレー体の写真(別冊午前 No. 5 A)と装着時に使用する器具の写真(別冊午前 No. 5 B)を別に示す。

3番目に使用するのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 保存修復学

No. 5 A



B



選択肢考察

- a 1) 隣接面コンタクトの調整
コンタクトゲージ(③)を使用し、適切な歯間離開度、コンタクトポイントを回復する。インレー体の隣接面の研磨は口腔外で終わっておく。
- 2) インレーの合着(接着)
窩洞およびインレー体に適宜表面処理を行った上で、接着性レジンセメントをインレーに塗布して窩洞に装着し、光重合照射器(②)を用いて重合する。
- 3) 咬合調整
セラミックインレーは脆性材料であり、接着して歯質と一体化させる前に咬合確認を行って咬合力を加えると破折する危険性が高い。このため、咬合調整は必ず接着後に行う。
咬合紙(①)で咬合接触を確認しながら咬合調整し、超微粒子ダイヤモンドシリコンポイント(④)を用いて調整部分を研磨する。

正解 a

[問題 40] 直接覆髄材と逆根管充填材の両方に用いられるのはどれか。

- a EBAセメント
- b MTAセメント
- c グラスアイオノマーセメント
- d タンニン・フッ化物合剤配合ポリカルボキシレートセメント

▶ 歯内療法学

選択肢考察

- × a EBAセメントは逆根管充填材として応用されるが、直接覆髄材ではない。
- b MTAセメントは直接覆髄材としても逆根管充填材としても使用することができる。
- × c グラスアイオノマーセメントは金属の合着や成形修復、予防填塞などに用いられる。
- × d タンニン・フッ化物合剤配合ポリカルボキシレートセメントは直接覆髄材ではない。

正解 b

DH19:P327

[問題 41] 歯髄鎮静効果があるのはどれか。

- a ヨードホルム
- b ホルムクレゾール
- c 水酸化カルシウム
- d フェノールカンフル

▶ 歯内療法学

選択肢考察

- × a、b ヨードホルム、ホルムクレゾールは消毒作用を有する。歯髄鎮静作用はない。
- × c 水酸化カルシウムは歯髄賦活作用、第二象牙質形成作用を有する。歯髄鎮静作用はない。
- d フェノールカンフルにはフェノールが含まれているため、歯髄鎮静作用がある。

正解 d

DH19:P311

[問題 42] 71歳の男性。上顎右側中切歯と側切歯の審美不良を主訴として来院した。6か月前から気付いていたが強い痛みがないのでそのままにしていたという。エアーで一過性の疼痛を認めるが、他に症状はない。検査の結果、修復処置を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前No. 6)を別に示す。

適切な修復材料はどれか。2つ選べ。

- a コンポジットレジン
- b リン酸亜鉛セメント
- c グラスアイオノマーセメント
- d 酸化亜鉛ユージノールセメント

▶ 保存修復学

選択肢考察

- a、○ c 口腔内写真より根面う蝕の存在が示唆される。根面う蝕は歯肉退縮により露出した根面に発生するう蝕であり、高齢者に特徴的なう蝕である。修復処置としては、コンポジットレジン修復、またはグラスアイオノマーセメント修復を行う。
- × b リン酸亜鉛セメントは、歯髄刺激性を有する合着用セメントである。
- × d 酸化亜鉛ユージノールセメントは、歯髄鎮痛作用を有する仮着用セメントである。

No. 6



正解 a、c

[問題 43] 歯周ポケット切除療法はどれか。2つ選べ。

- a 新付着術
- b 歯肉切除術
- c フラップ手術
- d 歯肉弁根尖側移動術

▶ 歯周治療学

選択肢考察

- × a、× c 新付着術、フラップ手術は組織付着療法である。
- b ポケットを形成している歯肉を一塊に切除し生理的な歯肉形態にする歯周ポケット切除療法である。
- d 歯肉弁根尖側移動術は歯周ポケット切除療法のほか、付着歯肉の獲得ができることから歯周形成手術に分類する場合もある。

正解 b、d

DH19:P288

〔問題 44〕 40歳の女性。下顎右側側切歯と犬歯の歯肉退縮を主訴として来院した。これまでに夜間の歯ぎしりを指摘されたことがあったが、矯正治療や歯周治療を受けたことはなかったという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 7 A)とエックス線写真(別冊午前 No. 7 B)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌側*	3	2	2	2	2	2
歯種	3			2		
唇側*	3	2	2	2	2	2
動揺度	1			0		

*:プロービングデプス(mm)

歯肉退縮の原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉炎
- b 外傷性咬合
- c 小帯の付着位置異常
- d 不適切な歯ブラシの使用

▶歯周治療学

選択肢考察

- × a 歯肉炎では歯肉退縮は生じない。
- b 咬合性外傷の症状の1つである。エックス線写真で遠心に歯根膜腔拡大があり、動揺度も1度あることから咬合性外傷があることが疑われる。
- × c 小帯の位置異常は認められない。
- d 不適切なブラッシングは歯肉退縮の原因となる。

正解 b、d

No. 7 A



B



No. 8 A



B



C



▶歯科補綴学

〔問題 45〕 24歳の女性。起床時の歯の痛みを主訴として来院した。家族から睡眠中の歯ぎしり音を指摘されているという。口腔内写真(別冊午前 No. 8 A、B)と治療に用いた装置の写真(別冊午前 No. 8 C)を別に示す。

この装置の特徴はどれか。

- a 起床時に装着する。
- b 下顎には使用できない。
- c 前歯部のみ咬合させる。
- d 摩擦しやすい材料が用いられる。

選択肢考察

- × a 設問で使用されるナイトガードは夜間のブラキシズムの緩和を目的としており、夜間睡眠中に装着する。
- × b ナイトガードは上顎、または下顎の咬合面に装着する。
- × c ナイトガードは全歯面に均等に咬合接触させるように製作されている。
- d ナイトガードは天然歯や修復物を保護することを目的としているため、それらよりも軟らかい材料が用いられる。

正解 d

[問題 48] 全部床義歯製作時の操作を行っている写真(別冊午前 No. 9)を別に示す。
この操作によりわかるのはどれか。

- a 水平的顎位
- b 垂直的顎位
- c 側方顎路角
- d リーウェイスペース

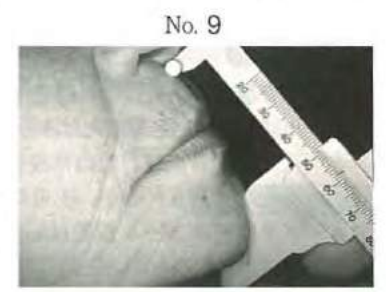
▶ 歯科補綴学

選択肢考察

- × a 水平的顎位はタッピング法やゴシックアーチ描記法を行うことでわかる。
- b ノギスを用いた顔面計測法により垂直的顎位がわかる。
- × c 顎路角はチェックバイト法によりわかる。
- × d リーウェイスペースは乳歯と永久歯との側方歯群間の大きさの差である。

正解 b

DH19:P671



No. 9

[問題 49] 真性三叉神経痛の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 両側性に生じる。
- b 電撃痛が生じる。
- c 睡眠時に生じる。
- d 痛みの持続は短い。

▶ 口腔外科学

選択肢考察

- × a 片側性に生じる。
- b 真性三叉神経痛の特徴は「電撃様疼痛」である。
- × c 睡眠時には生じない。
- d 痛みは短時間で間欠的である。

正解 b, d

[問題 46] インプラント治療の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 安価である。
- b 治療期間が長い。
- c 無菌顎患者にも適応できる。
- d 重度の歯周疾患にも適応できる。

▶ 歯科補綴学

選択肢考察

- × a インプラント治療は保険治療適応外であるため、治療費が高額となる。
- b インプラント治療では、フィクスチャーの埋入後にオッセオインテグレーション確立のために約2~3か月の治癒期間が必要となる。よって、冠橋義歯に比べ治療期間が長くなる。
- c ブリッジに必要な支台装置(支台歯)を必要としないため、無菌顎患者にも適応できる。
- × d 重度歯周疾患では、炎症がインプラント周囲に波及しやすいため、インプラント治療の適応とはならない。

正解 b, c

[問題 47] 即時義歯で正しいのはどれか。

- a 蠟義歯試適を行う。
- b 咬合高径が変化する。
- c 拔牙創の感染を起こしやすい。
- d 拔牙前に精密印象を採得する。

▶ 歯科補綴学

選択肢考察

- × a 拔牙前に製作した模型で義歯を製作するため、蠟義歯試適は行えない。
- × b 患者固有の咬合関係を維持することができるため、咬合高径を保つことができる。
- × c 拔牙創に対する細菌感染リスクを軽減することができる。
- d 精密印象採得は、拔牙前に行い、事前に義歯を製作する。

正解 d

[問題 50] 7歳の男児。舌の形態異常を主訴として来院した。触診で圧迫によって退色する。初診時の舌の写真(別冊午前 No.10)を別に示す。

考えられるのはどれか。

- a 血管腫
- b 地図状舌
- c 正中菱形舌炎
- d ブランゲンヌーン嚢胞

▶口腔外科学

選択肢考察

- a 血管腫は、圧迫により退色するのが特徴である。
- × b 地図状舌は、形態変化はみられず、圧迫によっても退色しない。
- × c 正中菱形舌炎は、舌の形態変化はみられず、舌背中央後方に赤色斑がみられるが、圧迫によって退色はしない。
- × d ブランゲンヌーン嚢胞は、舌下面前方に生じる粘液嚢胞(前舌腺嚢胞)である。圧迫しても退色しない。

正解 a

No.10



[問題 51] 局所麻酔薬中毒の初期症状はどれか。2つ選べ。

- a 興奮
- b 血圧上昇
- c 意識消失
- d けいれん

▶口腔外科学

選択肢考察

- a、○ b 局所麻酔薬中毒は、脳循環での局所麻酔薬血中濃度の上昇により生じる。血管内誤注、頻回の噴霧用リドカイン表面麻酔薬の使用、局所麻酔薬の過量投与により発現することがある。興奮、血圧上昇は局所麻酔薬中毒の初期症状である。
- × c、× d 意識消失やけいれんは、初期症状から抑制症状に移行する際にみられる。

正解 a、b

DH19:P691

[問題 52] Angle 分類で正しいのはどれか。

- a 下顎安静位で診断する。
- b Angle I 級は正常咬合である。
- c 上顎第一大臼歯を基準にする。
- d III 級は上顎前歯で細分類される。

▶矯正歯科学

選択肢考察

- × a 下顎安静位は歯の接触がないため、咬合関係が判別できない。
- × b Angle 分類は不正咬合を分類するものである。
- c Angle 分類は上顎第一大臼歯を基準とし、下顎第一大臼歯の前後的位置を評価する。
- × d Angle II 級は上顎前歯が唇側傾斜しているか舌側傾斜しているかによって2つに細分類される。

正解 c

DH19:P400

[問題 53] 歯の位置異常で正しいのはどれか。

- a 高位は咬合線を越えている。
- b 移転は左右同名歯間で入れ替わっている。
- c 唇側傾斜は正常な歯軸より唇側に位置している。
- d 対称捻転は上顎前歯が左右同方向に捻転している。

▶矯正歯科学

選択肢考察

- a 高位は咬合線を越えているもので、挺出している状態を呈する。
- × b 移転は、歯の萌出する位置が入れ替わっているものである。
- × c 唇側傾斜は正常な歯軸より唇側に傾斜しているものをいう。
- × d 対称捻転は上顎前歯が唇側面をあわせるように、互いに逆方向に捻転しているものをいう。

正解 a

DH19:P396

[問題 54] 5歳の女児。上顎左側乳中切歯をう蝕により抜去し、可撤保険装置を装着することになった。装着前の口腔内写真(別冊午前 No.11)を別に示す。

装置の装着により期待できるのはどれか。2つ選べ。

- a 審美性の回復
- b 鼻呼吸の促進
- c 口腔習癖の予防
- d 唾液分泌の促進

▶矯正歯科学

選択肢考察

- a 前歯部欠損症例では、審美性の回復が期待できる。
- × b 鼻呼吸の促進は期待できない。
- c 欠損部に舌を入れることが多くなるため、舌突出癖がついてしまうことがある。装置を装着することで、この習癖を予防することができる。
- × d 唾液分泌量に変化はみられない。

正解 a、c

No.11



【問題 57】 乳白歯に対して行う水酸化カルシウム製剤使用の生活歯髄切断法の術式に含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a 天蓋の一塊除去
- b 電気メスによる歯髄切断
- c 超音波を使用した髄腔洗浄
- d 水酸化カルシウム糊剤による髄床底の被覆

▶小児歯科学

選択肢考察

- a 隅角部の取り残しがなく、天蓋の一塊除去を行う。
- × b 電気メスではなく根管口よりやや大きめのラウンドバーで切断を行う。
- × c 洗浄には過酸化水素水と次亜塩素酸ナトリウムを用い、超音波は用いない。
- d 歯髄の炎症が歯冠部歯髄に限局している場合には、生活歯髄切断法を行う。髄床底部に副根管が多数存在するため、髄床底を水酸化カルシウム製剤で確実に覆う。

正解 a、d

DH19:P386

【問題 58】 アルツハイマー型認知症で特徴的にみられるのはどれか。

- a 幻覚
- b 無関心
- c 常同行動
- d もの忘れ

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- × a 幻覚は、レビー小体型認知症で見られる特徴的な症状である。
- × b、× c 前頭側頭型認知症では、初期に無関心や自発性の減退がみられる。また、同じ行動を繰り返す、同じ場所を徘徊するという常同行動もみられる。
- d もの忘れは、アルツハイマー型認知症で見られる。その他、近時記憶障害、もの盗られ妄想などがみられる。

正解 d

【問題 55】 矯正装置を装着した口腔内写真(別冊午前 No.12)を別に示す。

この補助弾線の矯正力はどれか。

- a 持続的矯正力
- b 機能的矯正力
- c 断続的矯正力
- d 間歇的矯正力

▶矯正歯科学

選択肢考察

- a 持続的矯正力は、次回調整するまで矯正力が保持されるもので、舌側弧線装置の補助弾線、コイルスプリング、ニッケルチタン線、エラスティックが該当する。
- × b 機能的矯正力は、咀嚼筋や口腔周囲筋の機能力を利用したときの矯正力である。
- × c 断続的矯正力は、次回調整するまでに矯正力が減衰するもので、急速拡大装置や結紮線による力が該当する。
- × d 間歇的矯正力は、使用中に矯正力がかかるとかからないときがあるもので、アクチバトールや咬合斜面板、上顎顎外固定装置、オトガイ帽装置が該当する。

No.12



DH19:P405

正解 a

【問題 56】 乳児の口腔内写真(別冊午前 No.13)を別に示す。

丸印で示す部分が最も関係するのはどれか。

- a 呼吸
- b 吸啜
- c 構音
- d 咀嚼

▶小児歯科学

選択肢考察

- × a、× c、× d 吸啜窩は、呼吸、構音、咀嚼とは関係しない。
- b 口蓋中央部の深いくぼみを吸啜窩とよび、哺乳の際、乳首の安定に役立っている。

正解 b

No.13



次の文を読み、[問題 61]、[問題 62] に答えよ。

13歳の男子。上顎前歯部の歯肉の腫脹を主訴として来院した。約5年前に脳波検査で異常が認められ、薬剤を服用しているという。他には全身的に特記すべき所見はみられない。歯の動揺はみられない。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.14)を別に示す。

[問題 61] 歯肉増殖の原因として考えられるのはどれか。

- a インスリン
- b ニフェジピン
- c フェニトイン
- d シクロスポリン

[問題 62] 歯科診療中に患者が徐脈、顔面蒼白および血圧低下をきたした。適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 名前を呼びかける。
- b 心マッサージを行う。
- c ハイムリック法を行う。
- d 頭部を心臓の高さより低くする。

▶障害者・高齢者歯科学
No.14



選択肢考察

[問題 61]

- × a インスリンは糖尿病患者が血糖値を下げる目的で用いる薬物である。
- × b ニフェジピンは降圧剤であり、高血圧患者が服用する薬物である。フェニトインと同じような歯肉増殖の副作用がある。
- c 脳波に異常が認められ、5年前から薬剤を使用とのことであり、てんかんが疑われる。よって、抗けいれん剤のフェニトインの長期使用による線維性歯肉増殖と考えられる。
- × d シクロスポリンは免疫抑制剤であり、自己免疫疾患を有する者が服用する。フェニトインと同じような歯肉肥大の副作用がある。

[問題 62]

- a 何らかの偶発症が生じた場合、まず肩などを軽くたたきながら名前を呼びかけ、意識の有無を確認する。
- × b 心停止と判断された場合、心マッサージを行う。
- × c ハイムリック法は気道の異物除去を目的として行う。
- d 血管迷走神経反射(神経性ショック)では、体位を水平位にすることで回復することが多い。足を高位にし、さらには頭部を心臓の高さよりも低くすることで、頭部への血流の増加を促す。

正解 [問題 61] c
[問題 62] a, d

DH19:P235、693

[問題 59] 高齢者の生理的特徴はどれか。2つ選べ。

- a 高体温
- b 低血圧
- c 易感染性
- d 易骨折性

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- × a 体温は加齢に従い低下し、体温調節機能も低下する。そのため、高齢者では低体温を呈することが多い。
- × b 高齢者では血圧は上昇する傾向にある。
- c 高齢者は免疫機能(特に獲得免疫機構)の低下に伴い、易感染性を呈する。
- d 骨量は加齢に従い減少するため、高齢者では易骨折性を呈する。特に女性では閉経後、エストロゲンの欠乏により急速に骨量が低下し、高回転型骨粗鬆症を呈することも多い。また、男性でも骨代謝の低下に伴い、低回転型骨粗鬆症を呈する。

正解 c, d

DH19:P52

[問題 60] 摂食・嚥下障害患者で経静脈栄養に比べて経口摂取が優れているのはどれか。

- a 尿量の維持
- b 血圧の調整
- c 電解質の補正
- d 腸管免疫能の維持

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- × a 経静脈栄養でも、適切な水分量を投与されれば尿量は維持でき、経口摂取が尿量維持にすぐれているとはいえない。
- × b 経静脈栄養、経口摂取ともに水分量、栄養素が適切に投与されていれば血圧は維持できる。
- × c 電解質の補正は、経静脈栄養では早急に補正が可能であり、経口摂取の方が優れているとはいえない。
- d 経静脈栄養と経口摂取の違いは、消化管を経由して栄養が摂取されるか否かである。経静脈栄養に比べ、経口摂取は消化管に食物が入るので消化器の機能が維持される。

正解 d

DH19:P608

[問題 65] 妊娠性歯肉炎の特異的予防はどれか。2つ選べ。

- a PMTC
- b 抗菌薬の処方
- c スケーリング
- d ポケット内細菌検査

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a 妊娠時は女性ホルモンの分泌量が増加し、プラークが原因となる歯肉炎が著しくなる場合がある。歯科医院での専門的なプラークコントロールは歯肉炎の発症を予防できる。
- × b ブラッシング等のプラークコントロールを徹底することが重要である。妊娠中の急性炎症時、必要な場合にはβラクタム系やマクロライド系の抗菌薬や消炎鎮痛薬を処方するが、十分な注意が必要である。
- c 歯石は歯周病の炎症性修飾因子である。除去することでプラークの蓄積を防ぐことが可能である。
- × d 妊娠時の歯肉炎には、女性ホルモンを栄養源として増殖する *Prevotella intermedia* が関連していると考えられているが、特定の歯周病原細菌のみを殺菌するような方法はないため特異的予防とはならない。

正解 a, c

DH19:P134

[問題 66] 歯周病と高血圧症に共通するリスクファクターはどれか。2つ選べ。

- a 喫煙
- b 運動不足
- c ストレス
- d 塩分の過剰摂取

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a 喫煙は歯周病、高血圧症、心血管疾患、がんなどに共通するリスクファクターである。
- × b 高血圧症のリスクファクターとされているが、歯周病と運動不足との関係は報告されていない。
- c ストレスは歯周病の環境因子であり、高血圧症でもリスクファクターである。
- × d 塩分の過剰摂取は血圧を上昇させるが、歯周病との関係は報告されていない。

正解 a, c

DH19:P284

[問題 63] 歯周疾患の第一次予防はどれか。2つ選べ。

- a 歯科保健教育
- b 歯の清潔の保持
- c ルートプレーニング
- d 歯周ポケット内の歯石除去

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a 歯科保健教育は第一次予防の健康増進手段に該当する。
- b 歯の清潔の保持はブラッシング、デンタルフロス、インターデンタルスティミュレーター（歯間刺激剤：ウェッジ、楊枝など）などを用いた効果的な口腔清掃の実施であり、第一次予防の特異的予防手段に該当する。
- × c ルートプレーニングは歯周疾患の治療と手術の1つであり、機能障害の阻止に該当する。ただし機能障害の防止に関しては二次予防に分類する場合と三次予防と分類する場合があり注意が必要である。
- × d 歯周ポケット内の歯石除去も同じく歯周疾患の治療と手術の1つであり、第二次予防または第三次予防の機能障害の阻止に該当する。

正解 a, b

DH19:P134

[問題 64] プラークが付着しやすいのはどれか。2つ選べ。

- a 前歯切縁部
- b 咬耗歯の咬合面
- c 萌出途中の大白歯
- d 対合歯のない歯の咬合面

▶歯科予防処置

選択肢考察

- × a 前歯切縁部は自浄域であるとともに人工的清掃も行いやすく、歯垢は付着しにくい。
- × b 咬耗歯の咬合面は咬頭や副隆線が消失して小窩裂溝も浅くなる。そのため、自浄作用も人工的清掃もいき届くようになり、歯垢は付着しにくくなる。
- c 萌出途中の大白歯は、歯ブラシが届きにくいだけでなく、咀嚼に関与しなかったり、また歯肉弁の存在のため不潔になりやすく、歯垢が付着しやすい。
- d 対合歯がないと、咀嚼による自然的清掃が不十分になり歯垢が付着しやすくなる。

正解 c, d

[問題 67] プロービング時の写真(別冊午前 No.15)を別に示す。

このポジションで直視できる部位はどれか。

- a 7~4 頬側
- b 7~4 頬側
- c 7~4 舌側
- d 4~7 舌側

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a、× b 7~4、7~4 頬側は頬粘膜に隠されており直視できない。
- c 7~4 舌側はデンタルミラーで舌を排除しているため、直視できる。
- × d 4~7 舌側は舌に隠されており直視できない。

正解 c

DH19:P458

No.15



[問題 68] 歯肉炎と歯周炎の鑑別診断に必要なのはどれか。2つ選べ。

- a 付着歯肉の幅
- b アタッチメントロス
- c プロービング時の出血
- d エックス線検査による歯槽骨吸収

▶ 歯科予防処置

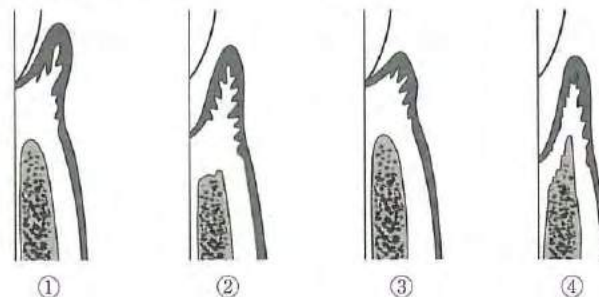
選択肢考察

- × a 付着歯肉の存在は、歯周組織の健康を維持する点から重要であるが、歯肉炎と歯周炎との識別には用いることができない。
- b 歯肉炎ではアタッチメントロスは認められない。
- × c 歯肉炎も歯周炎も歯周ポケット内壁の炎症が強い場合には、プロービング時に出血が認められる。
- d 歯周炎の進行に伴い、エックス線写真上で歯槽骨の吸収が認められるようになる。

正解 b、d

DH19:P280

[問題 69] 歯と歯周組織の断面図(模式図)を示す。



仮性ポケットはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a ①はポケットが形成されているが、ポケット底が根尖側に移動していない(アタッチメントロスがない)ため仮性ポケットである。
- × b ②はポケット底はエナメルセメント境より根尖側に移動しているが、歯槽骨頂よりは上にあるため骨縁上ポケットである。
- × c ③は歯周ポケットの形成はみられない正常な歯周組織である。
- × d ④はポケット底が歯槽骨頂より下に位置しているため骨縁下ポケットである。

正解 a

DH19:P280

【問題 70】 48歳の女性。上顎両側側切歯の冷水痛を主訴として来院した。2年前から自覚していたが放置していたという。現在、高血圧症の治療を受けている。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.16 A)とエックス線写真(別冊午前 No.16 B)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

唇側*	⑤	3	4	4	3	4	3	2	3	⑤	3	4
歯種		2			1			1			2	
口蓋側*	4	2	4	4	4	4	4	3	4	4	3	4
動揺度		1			0			0			1	

* :ブローピングデプス (mm)

○印:ブローピング時の出血

主訴の原因で考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 口呼吸
- b 歯周炎
- c 降圧薬の服用
- d 不適切なブラッシング

▶歯科予防処置

No.16 A



B



選択肢考察

- × a 口呼吸線は認められない。また、口呼吸が直接的な冷水痛の原因とはならない。
- b 歯周炎の進行により歯肉退縮が生じて根面が露出した結果、知覚過敏を生じたと考えられる。
- × c 降圧剤により知覚過敏を生じることはない。Ca拮抗薬では副作用として線維性肉肉増殖症を引き起こすことがあるが、この症例では生じていない。また、降圧剤の種類によっては副作用に口腔乾燥症があるが、それが部分的な知覚過敏の直接的原因とは考えにくい。
- d 不適切なブラッシングにより歯肉退縮を生じることがある。また、露出した根面を清掃できていなくても知覚過敏を生じることがある。

正解 b、d

【問題 71】 超音波スケーラーで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 動揺歯に使用できる。
- b 陶材修復歯に使用できる。
- c 約150gの側方圧で操作する。
- d チップと歯面との角度は15度で操作する。

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a 歯面への圧は小さいため、手指で対象歯を把持することで動揺歯のスケーリングも行える。
- × b 陶材は表面が脆弱であるため、超音波スケーラーは使用できない。
- × c スケーラーチップの歯面への圧は、手用スケーラーの約1/10の40~80gである。
- d チップと歯面との角度は15度が望ましい。

正解 a、d

DH19:P462

【問題 72】 グレーシートタイプキュレットのシャープニングで適切なのはどれか。2つ選べ。

- a ヒールからトゥに砥石を移動させる。
- b 切縁から砥石を離さないようにする。
- c 形態修正はアーカンソー砥石を用いる。
- d 第1シャンクが床面と垂直になるよう把持する。

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a ヒールから先端(トゥ)に向け移動させる。
- b 切縁から砥石を離さないようにする。
- × c 形態修正にはインディアナ砥石やカーボランダム砥石を用いる。
- × d 刃部内面を床と平行にする。

正解 a、b

DH19:P464

【問題 73】 粉末噴射式歯面清掃器の操作で適切なのはどれか。

- a ポケット内で使用が可能である。
- b チップは歯面から3mm程度離す。
- c チップは切縁咬合面方向に向ける。
- d チップと歯面との角度は15度にする。

▶歯科予防処置

選択肢考察

- × a ポケット内での直接使用は、気腫を生じる危険性がある。
- b 操作時の歯面とチップとの距離は1.0~5.0mm程度にする。
- c、× d 歯面とチップの角度は60度で、歯頸側から切縁咬合面方向に使用する。

正解 b、c

DH19:P452

次の文を読み、[問題 74]、[問題 75] に答えよ。

2歳1か月の男児。う蝕を主訴として母親と来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.17)を別に示す。初診時での母親と歯科衛生士との会話の一部を示す。

歯科衛生士：今日は、どうされましたか。

母 親：むし菌ができたようです。

歯科衛生士：むし菌は何本ありますか。

母 親：上の前の歯、2本です。

歯科衛生士：授乳方法はどうでしたか。

母 親：母乳だけで、まだ与えています。

歯科衛生士：離乳を開始したのはいつからですか。

母 親：1歳頃始め、家族と同じ内容・硬さのものを食べさせていました。

歯科衛生士：食事の後に歯を磨いていますか。

母 親：ときどき磨いています。

歯科衛生士：好きな飲み物はありますか。

母 親：乳酸菌飲料です。

歯科衛生士：咬み合わせについてはどうですか。

母 親：気にしたことはありません。

[問題 74] 得られた情報で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 卒乳時期が遅い。
- b 離乳開始時期は早い。
- c 1歳時離乳食の内容は適切である。
- d 母親はう蝕状態を把握できていない。

[問題 75] まず行うべき対応はどれか。2つ選べ。

- a う蝕治療
- b 食生活指導
- c フッ化物塗布
- d 口腔清掃指導

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

[問題 74]

- a 卒乳は、一般的に生後8~10か月、遅くとも18か月頃までが望ましい。
- × b 離乳の開始は生後5か月頃が適当である。
- × c 会話より、「1歳頃始め、家族と同じ内容・硬さのものを食べさせていました」と母親が言っている。1歳頃に適切な調理形態は、歯の萌出状況、咀嚼能力などを考慮すると、「歯ぐきでかめる硬さ」である。よって、家族(大人)と同じ内容・硬さは不適切である。
- d 母親は会話の中で、上の前歯2本がむし菌であると言っている。口腔内写真をみると、少なくとも上顎4前歯は象牙質がみえておりう蝕に罹患していることが確認できる。

[問題 75]

- × a、○ b まず食生活指導を行ってから、う蝕治療をする。上顎前歯部にみられるう蝕は、まだ卒乳していないこと、乳酸菌飲料の摂取が原因の1つである。
- × c フッ化物塗布はまず行う処置ではない。
- d 会話より「食後のブラッシングはときどき」とのことである。食後のブラッシングの必要性を説明し、その習慣を母親と男児に身につけさせることが大切である。

正解 [問題 74] a、d

[問題 75] b、d

No.17



[問題 76] 8歳の女児。う蝕予防処置を希望して来院した。下顎左側第一大臼歯に光硬化型グラスアイオノマーセメントを用いて小窩裂溝填塞を行うことになった。処置中の写真(別冊午前 No.18)を別に示す。

次に行うのはどれか。

- a 填塞
- b 水洗乾燥
- c ラバーダム除去
- d パーニッシュ塗布

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 填塞を行った後に、光重合器で硬化させる。すでに填塞は終了している。
- × b 歯面の研磨後に水洗乾燥を行う。
- × c すべての処置が終了した後にラバーダムを除去する。
- d シーラント填塞の直後に初期感水防止のためパーニッシュ塗布を行う。

正解 d

DH19:P504

No.18



[問題 79] POS (problem-oriented system) 理論で、対象者の表現したものや考え方を記録するのはどれか。

- a S
- b O
- c A
- d P

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

○ a S (主観的情報) は、対象者の表現したものや考え方をそのまま記録する。POS (problem-oriented system; 問題志向型記録) では、初期計画として ① 診断計画・(観察) 計画、② 治療・ケア計画、③ 教育・指導計画が立てられる。計画に沿って実践されたことは、歯科衛生実地指導記録、訪問歯科衛生指導記録、居宅療養管理指導記録などで記録に残さなければならない。SOAP はその記録方法である。

- S (subjective) : 患者が訴えていること (主観的情報)
- O (objective) : 観察した結果 (客観的情報)
- A (assessment) : そしてどう思ったか (分析・感想)
- P (plan) : それでどうしたか、どうするか (計画・実施)

正解 a

DH19:P589

[問題 80] 禁煙指導における対象者の行動変容ステージと指導内容の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 無関心期 —— 自分の禁煙と結びついている行動様式を考えるように促す。
- b 関心期 —— 禁煙宣言書を作成するよう促す。
- c 準備期 —— ニコチン代替療法の情報を提供する。
- d 実行期 —— 禁煙できたときの自分への褒美を考えるよう助言する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

× a 無関心期は、情報不足や過去の失敗体験から諦めている段階である。自分の禁煙と結びついている行動様式を考えるように促すのは、関心期に適した指導内容である。

× b 関心期は、変化によってもたらされる利点や欠点に意識が高まっている段階である。禁煙宣言書を作成するよう促すのは、準備期に適した指導内容である。

○ c 準備期は、1か月以内に行動を起こす意図を持っている段階である。ニコチン代替療法の情報を提供するの、準備期に適した指導内容である。

○ d 実行期は、禁煙を開始して6か月以内の時期で、行動変容により顕在的变化のみられる段階である。禁煙できたときの自分への褒美は、刺激制御あるいは強化管理にあたり、実行期に適した指導内容である。

正解 c, d

DH19:P532

[問題 77] フッ化物配合歯磨剤に用いられるのはどれか。2つ選べ。

- a フッ化水素酸
- b フッ化第一スズ
- c フッ化カルシウム
- d モノフルオロリン酸ナトリウム

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

× a フッ化水素酸は技工操作で用いられるもので、人体には使用できない。

○ b、○ d フッ化第一スズ、モノフルオロリン酸ナトリウムはフッ化物配合歯磨剤に用いられる。

× c フッ化カルシウムは、フッ化物の作用によりエナメル質表面に形成されるものである。

正解 b, d

DH19:P485

[問題 78] 6歳の男児。体重20kg。2% NaF 溶液を用いて局所歯面塗布を行うことになった。誤飲して急性中毒を発生する可能性がある最小量はどれか。

- a 0.4mL
- b 4.4mL
- c 22.0mL
- d 44.0mL

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

× a 2% NaF 溶液 0.4mL 中の F 量は 3.6mg であるため、急性中毒量には達しない。

○ b フッ化物は 2mgF/kg で急性中毒を起こすため、体重 20kg の男児では 40mgF が中毒量となる。2% NaF 溶液 4.4mL 中の F 量は 39.6mg であり、急性中毒を発生する可能性がある。

× c 2% NaF 溶液 22.0mL 中の F 量は 198mg であるため、急性中毒量を大きく上回る。

× d 2% NaF 溶液 44.0mL 中の F 量は 396mg で、最小致死量に近い。

正解 b

DH19:P500

【問題 81】 老化に伴う口腔機能の変化で正しいのはどれか。

- a 刺激唾液の増加
- b 咀嚼時間の短縮
- c 味覚閾値の低下
- d 最大咬合力の低下

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 感覚感受性が低下するため刺激唾液は**低下**する。
- × b 咀嚼機能が低下するため咀嚼時間は**延長**する。
- × c 味覚閾値は**上昇**する。
- d 咀嚼筋機能が低下するため最大咬合力は**低下**する。

正解 d

DH19:P53

【問題 82】 離乳開始時に与えるのはどれか。

- a そば
- b 煮豆
- c 白身魚
- d つぶし粥

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a そばは食物アレルギーの懸案があり、離乳開始時は与えない。
- × b 煮豆とは大豆の煮物である。大豆は、食物アレルギーの懸案があり、離乳開始時は与えない。
- × c 魚は、離乳食に慣れたら白身魚から始める。
- d **離乳**の開始とは、なめらかにすりつぶした状態の食物を初めて与えた時としており、その時期は生後**5、6**か月頃が適当であるとしている。

離乳の開始では、アレルギーの心配の少ないおかゆ(米)から始め、慣れてきたらじゃがいもや野菜、果物、さらに慣れたら豆腐や白身魚など、種類を増やしていく。なお、おかゆ(米がゆ)は、乳児が口の中で押しつぶせるように十分に煮て、初めは「つぶしがゆ」とし、慣れてきたら粗つぶし、つぶさないままへと進め、軟飯へと移行する。

正解 d

【問題 83】 離乳の進め方で適切なのはどれか。

- a 哺乳反射の減弱は離乳完了の目安となる。
- b 離乳の開始は生後2、3か月頃が適当である。
- c 離乳食を1日3回にするのは離乳開始後1か月頃である。
- d 舌でつぶせる固さのものを与えるのは生後7、8か月頃からである。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 哺乳反射の減弱は、**離乳開始**の目安となる。
- × b 離乳の開始は、生後**5、6**か月が適当である。
- × c 離乳食を1日3回にするのは、離乳開始後**3、4**か月(生後9か月頃)である。
- d 口の前の方を使って食べものを取り込み、舌と上あごでつぶしていく動きを覚えるのが生後**7、8**か月頃で、1日**2**回とする。

正解 d

DH19:P566

【問題 84】 カンジダ症の発症に影響を与えるのはどれか。

- a う蝕
- b 義歯装着
- c 歯の摩耗
- d 外傷性咬合

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- b 義歯装着は**カンジダ菌**の生育しやすい口腔環境となるため、洗浄を含めた口腔ケアが重要である。

正解 b

【問題 85】 99歳の男性。介護老人施設入所後3日で、食後の歯磨きの介助に不満があるという。「家では朝起きてすぐに歯磨きをして、口の中をすっきりさせて1日が始まった。ここでは、歯磨きは食後に介助するといわれたが、私は嫌だ」と言い、不満な様子である。ベッドから車椅子への移乗に介助が必要であるが、歯ブラシとコップとを用いて自分で歯磨きができる。

適切な対応はどれか。

- a 朝食前の歯磨きの援助を相談する。
- b 朝食前の歯磨きは効果がないと説明する。
- c 朝食前の歯磨きの習慣を変更するように勧める。
- d 朝食前は職員が少ないので対応できないと謝罪する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a、× c 患者の思いを尊重し、患者に最も適切な援助方法を検討すべきである。
- × b 食前の歯磨きは、口腔内の衛生の向上や刺激により唾液分泌を促すことで、誤嚥予防となるため効果的である。
- × d 職員が少ないので対応できないというのは不適切である。

正解 a

【問題 86】 80歳の女性。脳梗塞のため入院している。歯科医師より口腔衛生管理を指示されて定期的に病室を訪問している。患者は部分床義歯を装着しており、着脱には介助を必要とする。義歯には多量のプラークが付着していた。

義歯を取り外した後の口腔ケアで適切なものはどれか。

- a 義歯に接する歯は丁寧にブラッシングを行う。
- b 義歯の清掃は汚れやすい人工歯部を重点的に行う。
- c 義歯の清掃には義歯用ブラシと歯磨き剤を使用する。
- d 口腔内の清掃はブラッシングと含嗽をすることで行う。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 義歯に接している歯や義歯のパネが掛かっている歯は、特に食べかすが溜まりやすく、歯垢のためにう蝕(むし歯)になりやすいので、入念にブラッシングを行う必要がある。
- × b 義歯の唇、舌、頬に接する面はきれいに研磨されているので汚れが付きにくい。人工歯は複雑な形態であるが唾液による自浄作用があり、汚れにくい。顎に接する粘膜面は複雑な形態で、自浄作用もなく汚れやすい。
- × c 義歯の清掃は義歯用ブラシによる機械的清掃を行い、次いで義歯洗浄剤による化学的清掃を行うことが望ましい。しかし、研磨力の高い歯磨き剤の使用は着色の除去効果は高いが、レジン床の摩擦を招くので使用しない。
- × d 意識がはっきりしている、唇を閉じることができる、頬・舌を動かせる、水を吐き出すことができる、という条件が整わない場合には、含嗽法でなく清拭法を行うのが好ましい。

正解 a

【問題 87】 地域保健活動でハイリスクアプローチに比べた集団アプローチの利点はどれか。

- a 実施計画の立案が容易である。
- b 計画実施のための費用が少ない。
- c 地域全体に及ぼす効果が大きい。
- d リスクの低い住民への介入を省力化できる。

▶ 歯科保健指導

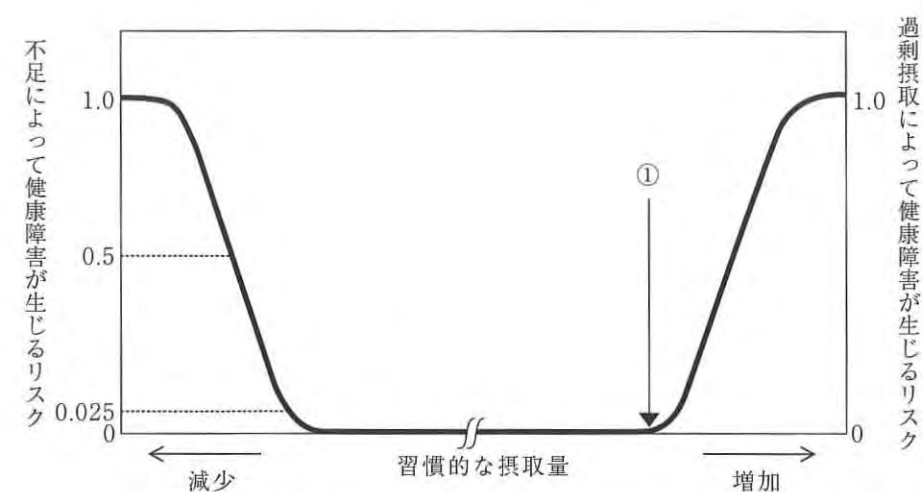
選択肢考察

- × a 実施計画の立案は、対象者を限定できるハイリスクアプローチのほうが容易である。
- × b 計画実施のための費用は、対象者が少ないハイリスクアプローチのほうが少ない。
- c 地域全体に及ぼす効果は、地域住民すべてを対象にした集団アプローチのほうが大きい。
- × d 集団アプローチはリスクの高低を問わず、地域住民すべてを対象にする。

正解 c

DH19:P582

【問題 88】 日本人の食事摂取基準(2015年)の概念図を示す。



①の摂取量が定められているのはどれか。

- a カリウム
- b ナトリウム
- c カルシウム
- d ビタミンC

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a カリウムは目分量、目標量が定められている。
- × b ナトリウムは推定平均必要量、目標量が定められている。
- c 設問の①は耐容上限量である。カルシウムは推定平均必要量、推奨量及び耐容上限量が定められている。
- × d ビタミンCは推定平均必要量、推奨量が定められている。

正解 c

DH19:P547

【問題 89】 国民健康・栄養調査(平成28年)の結果において他の年代に比べて20歳代で最も高い項目はどれか。

- a 朝食の欠食率
- b 野菜摂取量の平均値
- c 運動習慣のある者の割合
- d 喫煙習慣のある者の割合

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 朝食の欠食率は男女とも20歳代で最も高い。
- × b 野菜摂取量の平均値は男女計で60歳代が最も高い。
- × c 運動習慣のある者の割合は男女計で70歳代が最も多い。
- × d 喫煙習慣のある者の割合は男性で30歳代が最も高い。女性は、40歳代が最も多い。

正解 a

DH19:P542

[問題 92] 周術期管理において若年者に比較した高齢者の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 術後に高体温を生じやすい。
- b 術後にせん妄を生じやすい。
- c 術後の肺血栓塞症は少ない。
- d 術後に誤嚥性肺炎を生じやすい。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 高齢者は全身麻酔からの回復が遅く、**低体温**を生じやすい。
- b **せん妄**は術後1~3日に発症することが多く、高齢者によくみられる。
- × c 高齢者では**早期離床**に時間がかかり**下肢静脈瘤**が生じやすく、**肺血栓塞症**を生じやすい。
- d 高齢者では**嚥下反射**や**咳嗽反射**が低下するために、**誤嚥性肺炎**を生じやすい。

正解 b、d

DH19:P594

[問題 93] 73歳の女性。食物が飲み込みにくいことを主訴として来院した。主訴を改善するために口腔内に装置を装着することになった。製作した装置の写真(別冊午前 No.19)を別に示す。この装置で改善されるのはどれか。

- a 嚥下反射
- b 食塊形成
- c 鼻腔逆流
- d 食べこぼし

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 軟口蓋や咽頭・舌根に対する刺激が反射を誘発するため改善しない。
- × b 歯と舌の運動により食塊形成が営まれるため改善はない。
- c **軟口蓋挙上装置**の目的は、軟口蓋を装置により挙上させ、嚥下時に鼻咽腔を閉鎖することである。
- × d 食べこぼしは口唇閉鎖不全で生じやすく、口唇閉鎖のために**口輪筋の筋機能訓練**を行う必要がある。

正解 c

DH19:P635

No.19



[問題 90] 自力での摂取が困難な臥床患者の食事介助で適切なのはどれか。

- a 水分摂取の介助を控える。
- b 仰臥位の姿勢を保持するよう介助する。
- c 食事内容が見える位置に食器を配置する。
- d 患者の下顎が上がるよう上方からスプーンで介助する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 臥床患者とは、病状や治療のため床上での生活を余儀なくされている状態の患者である。水分摂取を控えると口腔内が乾燥傾向となり、嚥下しにくく**誤嚥**を引き起こしやすくなる。食事開始時にはお茶などの飲み物で喉を潤し、嚥下しやすい状態に整える。また、水分摂取時は誤嚥しやすいため、必ず介助をする。
- × b 症状や治療上、体位制限がある場合には仰臥位で食事介助を行うこともあるが、できるだけ**座位**に近づけるよう上半身を起して食事介助を行う。**上半身挙上**により、誤嚥を予防することにもつながる。
- c 臥床患者に食事内容が見える位置に食器を配置することで、患者の意向に沿うよう食事介助を行うことができる。また食事内容が分かることで食欲が増すこともある。患者に食事内容が分かるように配慮する。
- × d 患者の下顎が上がることで気管が広がり、誤嚥の危険性が高くなる。介助するときはスプーンを平行に舌の中央まで入れてから抜き、下顎は少し下がる程度の姿勢を保つことで誤嚥を防ぐことができる。

正解 c

DH19:P624

[問題 91] 構音の過程で軟口蓋が舌と咽頭後壁に接触するのはどれか。

- a /f/
- b /k/
- c /m/
- d /t/

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a /f/は、上顎前歯と下唇が接触し、空気が通過する際の摩擦で発音する。**無声唇歯摩擦音**という。軟口蓋が舌と咽頭後壁には接触しない。
- b /k/は、舌後方上面と軟口蓋で閉鎖を作り、それを開放することによって起こる破裂音である。この際、鼻咽腔は閉鎖しているため、軟口蓋(口蓋帆)は咽頭後壁とも接触している。**無声軟口蓋破裂音**という。
- × c /m/は、両唇が閉じた状態で、呼気を鼻へ通すことで音を作り出す。**両唇鼻音**という。
- × d /t/は、舌をそらせた状態で硬口蓋へ舌尖を接触させることで閉鎖を作り、その閉鎖を開放することによって起こる破裂の音で発音する。**舌破裂音**という。

正解 b

DH19:P633

[問題 96] クリニカルパスで作成されるのはどれか。

- a 診療録
- b 医療事故報告書
- c 診療スケジュール
- d インシデントレポート

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- c 病气ごとに、治療や検査、看護ケアなどの内容およびタイムスケジュールを一覧表に表したものを「クリニカルパス」という。患者用のクリニカルパスは、主に入院中に受ける検査、手術、処置、手術後のリハビリ、食事、入浴などの標準的な内容と予定が示されており、入院が決まった段階から入院当日に渡されることが一般的である。医療スタッフ用のクリニカルパスは、科学的な根拠に基づいた専門的かつ詳細な内容が書き込まれている。

正解 c

[問題 97] エアータービンと比べた5倍速マイクロモータの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 軽量である。
- b 最高回転速度が遅い。
- c 歯髄の傷害を起こしにくい。
- d 回転方向の切り替えが可能である。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 軽量なのはモーターがないエアータービンである。
- b 最高回転速度が遅いのはエアータービンである。
- × c 歯髄の傷害を起こしにくいのは、強圧で歯質に押し付けると回転が停止するエアータービンである。
- d マイクロモータは動力源がモーターのため、回転方向の切り替えが可能である。

正解 b, d

[問題 94] 口腔期に障害がある摂食・嚥下障害患者に行う間接訓練はどれか。2つ選べ。

- a 構音
- b 頭部挙上
- c 嚥下促通
- d ブローイング

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 構音訓練(バ、タ、カなど)は、口腔期障害における間接訓練法である。
- × b 頭部挙上訓練は咽頭期における間接訓練法である。喉頭挙上に関わる筋の強化を行い、喉頭の前上方運動を改善して食道入口部の開大を図り、食道入口部の食塊通過を促進し、咽頭残留を減少させる効果がある。
- × c 嚥下促通訓練は、冷圧刺激やのどのアイスマッサージが該当し、主に咽頭期における間接訓練法である。
- d ブローイング訓練は、吹く動作(口腔気流)により鼻咽腔閉鎖に関わる神経・筋群の活性化を目的とする口腔期における間接訓練法である。

正解 a, d

DH19:P615

[問題 95] 79歳の男性。家族より口腔ケアについての指導を依頼された。1年前より肺炎を繰り返しているという。全身的に運動障害は認めない。ほとんど話すことはなく、時折発せられる声は湿性を呈していた。

口腔ケア指導を行うにあたり適正な頸部の姿勢はどれか。

- a 前屈
- b 側屈
- c 回旋
- d 伸展

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 前屈した姿勢で行い、口腔清掃によって除去された細菌等が咽頭方向へ流れないようにすることで、誤嚥を防止する。
- × b、× c、× d 側屈、回旋、伸展は、口腔内の汚染物質の咽頭への流入が防ぎにくく、誤嚥防止の首の姿勢として適切でない。

正解 a

DH19:P616

[問題 99] 49歳の女性。慢性歯周炎と診断し、歯周基本治療を行い、下顎右側第一大臼歯は予後不良と判断し抜去した。再評価の結果、下顎右側第二大臼歯に歯周外科治療を行うことになった。術中の口腔内写真(別冊午前 No. 20A)、エックス線写真(別冊午前 No. 20B)及び器具の写真(別冊午前 No. 20C)を別に示す。再評価時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌側*	4	4	5
歯種	7		
頬側*	4	3	7
動揺度	0		

*:プロービングデプス(mm)

丸印で示す部分の処置に使用する器具はどれか。2つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶歯科診療補助

No.20A



B



C



①

②

③

④

選択肢考察

- × a ①はキュレットタイプのスケーラーであり、スケーリング・ルートプレーニングなど根面の搔爬に使用する。
○ b 写真Aは、歯周外科手術中の口腔内写真である。丸印で囲まれている部分は、隣接部位から続く歯槽頂よりはみ出て鋭縁として残存しており、エックス線写真からも確認できる。このような骨鋭縁は手術後も歯肉の形態不整の原因となり、歯槽骨整形を行う必要がある。②はシュガーマンのボーンファイルであり、歯槽骨整形や、骨切除に使用する。
× c ③はオルバンメスで、歯肉切開に使用する。
○ d ④はオキシファンピンのボーンチゼルであり、歯槽骨整形や、骨切除に使用する。

正解 b、d

[問題 98] 2ステップセルフエッチングシステムを用いた接着処理でプライマーを塗布した。

- 次に行うのはどれか。
a 水洗
b 光照射
c エアブロー
d プロットドライ

▶歯科診療補助

選択肢考察

- × a、× b、○ c 2ステップセルフエッチングプライマーは、酸処理とプライミングを同時に行う歯面処理材である。MDPなどの酸性接着性モノマーや水などの溶媒を含み、リン酸よりもマイルドな酸処理効果を発現する。歯面処理の順は「セルフエッチングプライマー塗布」→「エアブロー」→「ボンディングレジジン塗布」→「乾燥」→「光照射」である。
× d プロットドライは2ステップセルフプライミングボンディングシステムで用いられる手技である。手順は「リン酸エッチング」→「水洗」→「プロットドライ(微風乾燥)」→「セルフプライミングボンディング塗布」→「乾燥」→「光照射」である。リン酸エッチング後の水洗・乾燥時に完全乾燥せずに余剰水分の除去のみ行う。

正解 c

【問題 100】石膏はどれか。

- a 炭酸カルシウム
- b 硫酸カルシウム
- c リン酸カルシウム
- d フッ化カルシウム

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 炭酸カルシウム (CaCO₃) は水酸化カルシウムに二酸化炭素を反応させて合成する。主にチョークや歯磨剤に配合されている。
- b 硫酸カルシウム半水和物は水と練和される前の石膏である。半水石膏に水を加えると、下記の発熱反応で二水石膏になる。
CaSO₄ · 1/2H₂O + 3/2H₂O → CaSO₄ · 2H₂O + 発熱
硫酸カルシウム二水和物は硬化後の石膏である。
- × c リン酸カルシウムは硬組織を形成する主成分である。
- × d フッ化カルシウムはフッ化物の応用により歯面に形成される。

正解 b

【問題 101】28歳の女性。最近になって冷水、甘味食品の摂取、また、歯ブラシの接触により上下顎左側臼歯部に鋭い牽引性疼痛を瞬間的に覚えるようになったという。患者はどの歯が痛むかを明らかにできなかった。自発痛、打診痛、歯肉の炎症はみられず、エックス線写真や歯髄電気診でも異常所見は認められない。口腔内写真(別冊午前 No.21)を別に示す。

患歯の特定に用いる診査用器材はどれか。2つ選べ。

- a 探針
- b 割り箸
- c エアシリンジ
- d 加熱ストッピング

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 本症例は象牙質知覚過敏症と考えられ、探針による歯頸部擦過痛によって患歯を特定する。
- × b 割り箸を噛ませることで、生活歯の歯冠破折の特定が行える。
- c エアシリンジによる冷刺激によって患歯を特定する。
- × d 加熱ストッピングで疼痛が生じるのは歯髄炎であり、象牙質知覚過敏症の診査には用いられない。

正解 a, c

No.21



【問題 102】歯科治療中の口腔内写真(別冊午前 No.22)を別に示す。

①に染み込ませる薬剤はどれか。

- a リドカイン
- b アドレナリン
- c フェノールカンフル
- d 次亜塩素酸ナトリウム

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a リドカインは局所麻酔薬である。
- b 写真は歯肉圧排糸による歯肉排除である。圧排糸には、出血を抑えるために血管収縮薬(アドレナリン)や収斂薬(塩化アルミニウム)を染み込ませる。
- × c フェノールカンフルは歯髄鎮静作用や根管消毒に用いる。
- × d 次亜塩素酸ナトリウムは根管洗浄に用いる。

正解 b

DH19:P638

No.22



【問題 103】55歳の男性。下顎右側第二大臼歯の修復物脱離を主訴として来院した。メタルインレー修復を行うことになった。完成したインレー体の写真(別冊午前 No.23 A)と数回接触点を調整したあとにコンタクトゲージを用いて検査している口腔内写真(別冊午前 No.23 B)を別に示す。

この後、インレー体の隣接面接触点部の研磨に使用する器具はどれか。

- a スチールバー
- b カーバイドバー
- c シリコンポイント
- d カーボランダムポイント

▶ 歯科診療補助

No.23 A



B



挿入できた

挿入できなかった

選択肢考察

- × a スチールバーを用いて滑沢な面を得ることは困難である。
- × b カーバイドバーは切削量が多く、コンタクトポイント間の距離が拡大する危険性が高い。
- c 粗い研磨粒子を含むシリコンポイントを用いる場合には、軽圧で慎重に用いることが重要である。
- × d カーボランダムポイントは切削量が多く、切断面も粗造となるために使用しない。

正解 c

〔問題 104〕 口内法エックス線撮影で患者被曝低減に有効なのはどれか。2つ選べ。

- a 管電流を多くする。
- b 照射野を大きくする。
- c 高感度フィルムを用いる。
- d 焦点-皮膚間距離を長くする。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 管電流を多くしても線質は変化しないため、患者の被曝低減にはつながらない。
- × b 照射野の大きさと被曝線量とは正比例の関係にある。必要以上に照射野を大きくすると余計な部位への被曝が増えるため逆効果である。
- c 高感度フィルムを使うことで患者の被曝を低減できる。
- d ロングコーンなどを用いて焦点・皮膚間距離を長くすれば、被曝線量を少なくできる。

正解 c、d

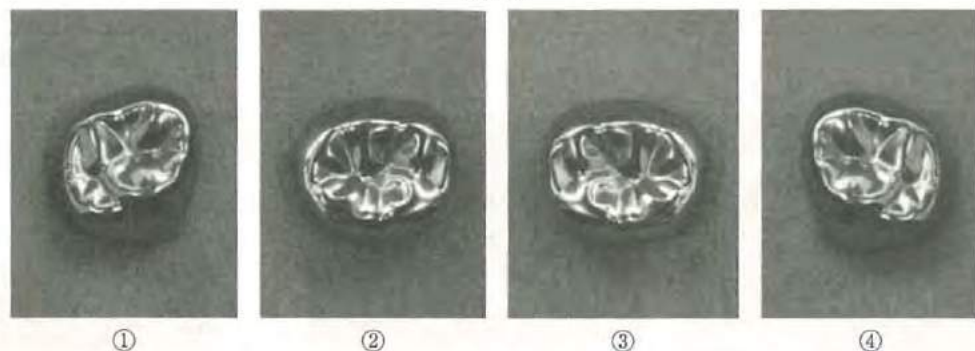
DH19:P242

〔問題 105〕 Hellman の歯齢Ⅱ A 期の小児。下顎左側第一乳臼歯を抜去し、クラウンループを製作することになった。既製乳歯冠の写真(別冊午前 No.24)を別に示す。使用する乳歯冠はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.24



選択肢考察

- × a ①は、E の乳歯冠である。
- b D 欠損で用いるクラウンループは E を支台とする。②は、E の乳歯冠である。
- × c ③は、E の乳歯冠である。
- × d ④は、E の乳歯冠である。

正解 b

〔問題 106〕 小児の医療面接で適切なのはどれか。

- a 歯科用ユニットで行う。
- b 開放的な環境を重視する。
- c 小児と保護者とは分けて行う。
- d 非言語的コミュニケーションを活用する。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 小児の恐怖心をとるためにも歯科用ユニットでの面接は避ける。
- × b プライバシーに十分に配慮し、開放的な場所での面接は避ける。
- × c 十分な情報を得るためには、小児だけでなく、保護者にも協力を得ることが必要である。
- d 小児との円滑なコミュニケーション構築のために非言語コミュニケーションを活用し、かつ小児が発する非言語コミュニケーションを読み取ることが重要である。

正解 d

〔問題 107〕 鉄欠乏性貧血を疑う患者の診察で留意すべき部位はどれか。2つ選べ。

- a 結膜
- b 指爪
- c 外陰部
- d 足底

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 貧血の際には、まず、眼瞼結膜の蒼白化がみられるかどうか診察する。
- b 鉄欠乏性貧血の特有の症状として、匙状爪(扁平爪)を認める。
- × c 貧血で外陰部に症状が生じることは通常ない。外陰部ではないが、月経時の経血量が多いことが鉄欠乏性貧血の原因となることはしばしばある。
- × d 貧血の際に足底を診察することは少ない。

正解 a、b

[問題 110] 30歳の女性。歯性上顎洞炎のため、抗菌薬の静脈内投与を開始した。10分後、顔面から頸部にかけて皮膚の発赤と膨疹が出現した。この後、起こり得る症状はどれか。2つ選べ。

- a 発熱
- b けいれん
- c 血圧低下
- d 呼吸困難

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a アナフィラキシーショックで発熱することもあるが、典型的な症状ではない。
- × b アナフィラキシーショックでけいれんが起こることは稀である。
- c 抗菌薬投与開始後10分で、皮膚の**発赤と膨疹**が出現していることから、アナフィラキシーであると判断できる。その後**血圧低下**などの循環障害をきたすとショック状態となる。アナフィラキシーショックは循環血液量が減少し、血管が拡張することにより、血圧の低下が引き起こされる。
- d ヒスタミンにより血管透過性が亢進して**喉頭浮腫**が生じ、ロイコトリエンによる**気管支収縮**により**呼吸困難**が生じる。アナフィラキシーショックの典型症状の1つである。

正解 c, d

DH19:P101

[問題 108] 病院内で倒れている人を発見した。最初に行うのはどれか。

- a 人工呼吸
- b 救急要請
- c AEDの装着
- d 意識の有無の確認

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a アメリカ心臓協会(AHA)による「心肺蘇生のためのガイドライン 2010年版」において、これまで胸骨圧迫に先立ち行うことになっていた人工呼吸は、救助者が1人の場合の成人、小児、乳児に対する心肺蘇生の手順は変更されていないが、高度な気道確保器具の挿入後や二人法の場合、「もはや換気を伴うサイクルとしては行わない」とされ、「人工呼吸を行ってもよい」という表現が用いられている。
- × b まずは意識の確認を行い、ここで、反応がない(全年齢対象)、または呼吸をしていないか、正常な呼吸をしていない(すなわち**死戦期呼吸**のみ)ことが確認された場合、次に救急要請、AEDの要請を行う。
- × c AEDの装着はAEDが到着次第直ちに行い、AEDの自動音声の指示に従う。ただし、AEDの装着は意識の確認に先立って行うものではない。
- d 倒れている傷病者を発見した際には、第一に**意識の確認**を行う。

正解 d

DH19:P686

[問題 109] 局所麻酔法で正しいのはどれか。

- a 炎症部位は効きやすい。
- b 不随意運動をきたす患者に適する。
- c 患者の意識下で効果を期待できる。
- d 全身麻酔法に比べて使用器具が多い。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 局所に急性炎症がある場合には麻酔効果が**減少**する。
- × b 不随意運動をきたす患者には的確な位置に刺入できないため、適用が困難である。
- c 患者の意識を失わせることなく、麻酔効果を期待することができる。
- × d **カートリッジとシリンジ、麻酔針**が必要であるが、全身麻酔法に比べると使用器具は少ない。

正解 c

DH19:P678

[問題 1] 下顎の前進運動時に働くのはどれか。

- a 咬筋
- b 顎二腹筋
- c 内側翼突筋
- d 外側翼突筋

▶解剖学

選択肢考察

- × a 咬筋は閉口運動(下顎骨の挙上)に関与する。
- × b 顎二腹筋は開口運動や後退運動に関与する。
- × c 内側翼突筋は閉口運動や側方運動に関与する。
- d 両側の外側翼突筋の収縮により下顎の前進が起こる。

正解 d

📖 要点集 281:P7

[問題 2] 歯の組織像(縦断研磨切片、カルボールフクシン染色)(別冊午後 No. 1)を別に示す。矢印で示す構造はどれか。

- a 象牙質橋
- b 球間象牙質
- c 第三象牙質
- d トームスの顆粒層

▶解剖学

選択肢考察

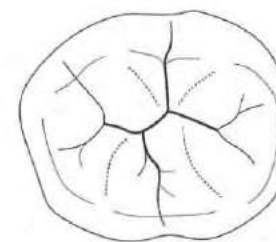
- × a 象牙質橋(デンティンブリッジ)は、直接覆髄や生活髄切断後に形成される象牙質様硬組織である。
- b 写真矢印は球間象牙質である。球間象牙質は低石灰化部位で、組織切片では濃染される。
- × c 第三象牙質は咬耗や摩耗、う蝕、間接覆髄後に形成される象牙質である。
- × d トームス顆粒層は、歯根部のセメント象牙境付近にみられる構造物である。

正解 b

📖 要点集 281:P13



[問題 3] 歯の咬合面の模式図を示す。



記号(FDI表示)で正しいのはどれか。

- a 16
- b 26
- c 36
- d 46

▶解剖学

選択肢考察

- c 図の歯は5咬頭であることから下顎第一大臼歯である。また咬合面形態と遠心咬頭の位置より左側歯である。

正解 c

[問題 4] 顎動脈の枝はどれか。

- a 舌動脈
- b 顔面動脈
- c 浅側頭動脈
- d 下歯槽動脈

▶解剖学

選択肢考察

- × a 舌動脈は外頸動脈の枝で、舌に分布する。
- × b 顔面動脈は外頸動脈の枝で、上行口蓋動脈や下唇動脈、上唇動脈、オトガイ下動脈を分枝する。
- × c 浅側頭動脈は外頸動脈の終枝である。
- d 顎動脈の主な枝には、下歯槽動脈、咬筋動脈、頬動脈、後上歯槽動脈、眼窩下動脈、下行口蓋動脈などがある。

正解 d

📖 要点集 281:P9

【問題 7】 血漿より唾液に多く含まれるのはどれか。

- a IgG
- b IgM
- c アルブミン
- d ヒスタチン

▶生理学

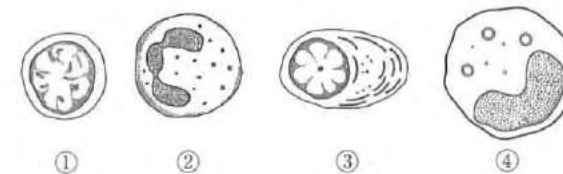
選択肢考察

- × a IgGは血漿中に最も多く含まれる免疫グロブリンの1つである。唾液中に分泌されるものではない。
- × b IgMは感染初期に最初に出現する免疫グロブリンで、五量体形成を特徴とする。IgG同様、唾液中に分泌されるものではない。
- × c アルブミンは肝臓で産生される血漿タンパク(運搬タンパク質)で、血漿浸透圧維持に重要な役割を果たすタンパクであり、唾液中に分泌されるものではない。
- d ヒスタチンは唾液中に含まれる抗菌因子の1つであり、特にCandidaなど真菌の発育を抑制する作用がある。

正解 d

要点集 281:P24

【問題 8】 炎症細胞の模式図を示す。



好中球はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶病理学

選択肢考察

- × a ①はリンパ球である。リンパ球は核に比べ細胞質が少ないことが特徴である。
- b ②は好中球である。分葉核をもつことが好中球の特徴である。
- × c ③は形質細胞である。核は偏在し、車軸核とよばれる像を呈するのが特徴である。
- × d ④はマクロファージである。多核の巨細胞が特徴的である。

正解 b

【問題 5】 正常な心臓の拍動の歩調とりするのはどれか。

- a 心室筋
- b 心房筋
- c 洞房結節
- d 房室結節

▶生理学

選択肢考察

- × a、× b 心室筋および心房筋は、血液の拍出を担う固有心筋である。
- c 心臓の興奮は、洞房結節に始まって心房全体に伝導する。拍動リズム(歩調とり)は洞房結節で行われる。
- × d 心臓の興奮は、洞房結節に始まって心房全体に伝導し、房室結節は心房の興奮を受けてこれをHis束に伝える。His束は心室中隔の上部で左脚と右脚とに分枝して下行し、プルキンエ線維網を形成している。これらの「洞房結節 → 房室結節 → His束 → 左脚および右脚 → プルキンエ線維」を興奮伝導系という。

正解 c

要点集 281:P19

【問題 6】 コラーゲン合成過程で水酸化されるアミノ酸はどれか。

- a グリシン
- b プロリン
- c グルタミン
- d アスパラギン

▶生理学

選択肢考察

- b コラーゲン合成過程において、プロリンおよびリシンの一部は水酸化され、ヒドロキシプロリン、ヒドロキシリシンとなる。この水酸化反応にはアスコルビン酸を必要とする。

正解 b

要点集 281:P54

[問題 11] IV型アレルギー反応によるのはどれか。

- a 気管支喘息
- b 糸球体腎炎
- c アナフィラキシー
- d アレルギー性接触皮膚炎

▶微生物学

選択肢考察

- × a 気管支喘息は、気道過敏性、可逆性の気道閉塞を主徴とする気道の慢性炎症である。アレルゲンの気道への侵入により、肥満細胞や好塩基球が脱顆粒を生じるI型アレルギー反応である。
- × b 糸球体腎炎は、抗原と抗体の結合物(免疫複合体)によるIII型アレルギー反応である。
- × c アナフィラキシーは、特定の物質によって惹起されたIgE抗体を介するI型アレルギー反応(即時型アレルギー反応)で生じる重篤な症状である。
- d アレルギー性接触皮膚炎は、化粧品、薬物などの抗原刺激により、遅延型アレルギー(IV型アレルギー)が生じる。

正解 d

📖 要点集 281:P31

[問題 12] DNAウイルスはどれか。

- a HAV
- b HBV
- c HCV
- d HDV

▶微生物学

選択肢考察

- × a、× c、× d HAV、HCV、HDVはRNAウイルスである。
- b HBVはDNAウイルスである。

正解 b

📖 要点集 281:P37

[問題 9] 歯の異常と発現しやすい歯種の組合せで正しいのはどれか。

- a 介在結節——上顎第一小臼歯
- b 切歯結節——下顎乳中切歯
- c 中心結節——下顎第二大臼歯
- d プロトスタイリッド——上顎第二乳臼歯

▶病理学

選択肢考察

- a 介在結節は上顎第一小臼歯近心にみられる。
- × b 切歯結節は、上顎切歯の舌側面において基底結節が特に発達したものである。
- × c 中心結節は、小臼歯(特に下顎第二小臼歯)咬合面の中心部に現れる結節で、咬耗や破折によって歯髄が露出し、急性歯髄炎を起こす。
- × d プロトスタイリッドは、下顎大白歯(下顎第二乳臼歯に最も多い)の近心頬側咬頭の頬側に出現する異常結節である。

正解 a

📖 要点集 281:P46

[問題 10] 腫瘍の内因はどれか。

- a 放射線
- b ウイルス
- c 癌遺伝子
- d 発癌物質

▶病理学

選択肢考察

- × a 放射線は腫瘍発症の外因で、物理的因子に含まれる。
- × b ウイルスの感染により生じる腫瘍があり、感染は腫瘍発症の外因である。
- c 癌遺伝子は腫瘍発生の代表的な内因である。
- × d アスベストなどの発癌物質は腫瘍発症の外因である。

正解 c

[問題 13] 口腔乾燥に与するものはどれか。

- a アトロピン
- b アセチルコリン
- c シクロスポリン
- d テトラサイクリン

▶薬理学

選択肢考察

- a アトロピンは麻酔の前投薬として使用される副交感神経遮断薬で、気管支拡張作用や唾液の分泌抑制作用がある。
- × b アセチルコリンは副交感神経や運動神経の末端から放出される神経伝達物質で、副交感神経を刺激する。
- × c シクロスポリンは免疫抑制薬であり、副作用として、シクロスポリン菌肉増殖症がある。
- × d テトラサイクリンはテトラサイクリン系抗菌薬であり、菌の形成時期に使用すると菌が着色する。

正解 a

要点集 281:P65

[問題 14] 医薬品の動物投与における用量-反応曲線(別冊午後 No. 2)を別に示す。

この医薬品の治療係数はどれか。

- a 2
- b 5
- c 10
- d 45

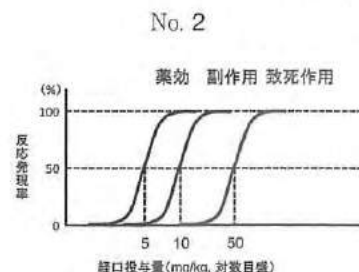
▶薬理学

選択肢考察

- c 治療係数(安全域)とは、 LD_{50}/ED_{50} (50%致死量/50%有効量)で求められる値で、治療指数は大きい方が好ましいとされる。グラフの治療係数は $50/5 = 10$ となる。

正解 c

要点集 281:P60



[問題 15] シクロオキシゲナーゼを阻害するのはどれか。

- a リドカイン
- b メフェナム酸
- c プレドニゾロン
- d オフロキサシン

▶薬理学

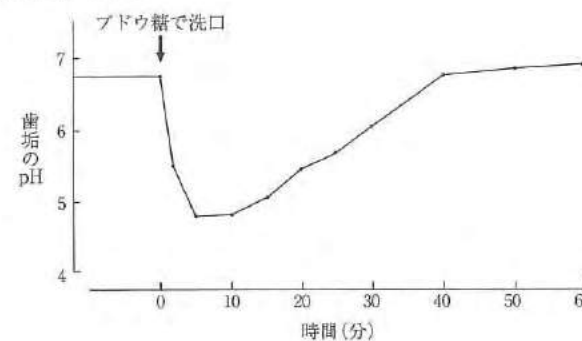
選択肢考察

- × a リドカインはアミド型局所麻酔薬で、 Na^+ チャネルを遮断することで、神経伝導を抑える。
- b シクロオキシゲナーゼ(COX)によりアラキドン酸からプロスタグランジン類(PG類)が産生される。非ステロイド性抗炎症薬(アスピリン、ロキソプロフェンナトリウム、メフェナム酸など)はシクロオキシゲナーゼを阻害することにより、PG類の産生を抑制し、炎症反応を抑える。
- × c プレドニゾロンは副腎皮質ステロイド性抗炎症薬であり、ホスホリパーゼ A_2 (PLA $_2$)を間接的に阻害するが、COXは阻害しない。
- × d オフロキサシンはニューキノロン系抗菌薬であり、COXは阻害しない。

正解 b

要点集 281:P64

[問題 16] ある曲線を図に示す。



この結果を導いたのはどれか。

- a H. T. Dean
- b P. H. Keyes
- c T. J. O'Leary
- d R. M. Stephan

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a H. T. Dean は、斑状歯(歯牙フッ素症)の重症度を表す指数を発表した。
- × b P. H. Keyes は、細菌性要因、基質性要因、宿主要因の3因子が重なる条件で、はじめてう蝕が発生するという蝕3大要因モデル'Keyesの輪'を提唱した。
- × c T. J. O'Leary はプラークコントロールレコード(Plaque Control Record: PCR)を提唱した。
- d 図はステファン曲線である。R. M. Stephan は、10%グルコースで2分間含嗽させたのち、直後ならびにその後10分間隔でプラーク中のpHを測定した。それを曲線として示したのがステファン曲線である。

正解 d

DH19:P104

[問題 19] 口腔由来の口臭症で歯周病罹患の有無にかかわらず高濃度に検出されるのはどれか。

- a 硫化水素
- b アンモニア
- c インドール
- d メチルメルカプタン

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a 硫化水素は、メチオニンやシステインなどの含硫アミノ酸から産生されるもので、生理的口臭の原因物質の1つである。また、歯周病の進行に伴い生成されるが、常時高濃度に検出されるものである。
- × b アンモニア臭は、歯周病罹患時のほか、腎疾患や肝疾患で検出される口臭の原因物質であるが、高濃度に検出されるものではない。
- × c インドールは腐敗臭の一種で、歯髄壊疽などで検出される口臭原因物質である。
- × d メチルメルカプタンは揮発性硫黄化合物の一種で、歯周病の進行に従い、高濃度で検出される。

正解 a

📖 DH19:P115

[問題 20] WHOが社会的・経済的な状態によらず住民のう蝕予防に有効としているのはどれか。

- a 甘味制限の指導
- b ブラッシング指導
- c フッ化物歯面塗布
- d 上水道フッ化物濃度調整

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 甘味制限の受容性は健康に対する関心度に影響を受ける。例えば、経済的状況によっては、健康に対する関心度が低くなるため、予防効果が得にくいことがある。
- × b ブラッシング指導も健康に対する関心度と関連が深い。健康に対する関心度は社会的・経済的な状態に影響を受ける。
- × c フッ化物歯面塗布はプロフェッショナルケアであり、専門家による介入が必要になる。そのため、普及には経済的な状態の影響を受ける。また専門家の数も必要になるため、社会的影響も受ける。
- d 上水道フッ化物濃度調整は費用対効果が高く、上水道が整備された地域であれば、社会的・経済的な状態によらず、う蝕が予防できる。また、個人の健康に関する関心度にも影響を受けにくいいため、健康格差の縮小に有効な手段である。

正解 d

[問題 17] 抗菌作用を目的に洗口液に配合されるのはどれか。2つ選べ。

- a トラネキサム酸
- b フッ化ナトリウム
- c 塩化ベンゼトニウム
- d 塩化セチルピリジニウム

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a トラネキサム酸は抗プラスミン作用をもち、歯周炎予防として歯磨剤や洗口剤に配合されている。
- × b フッ化ナトリウムは歯質の耐酸性向上を目的として、歯面塗布や洗口法で応用されるが、抗菌作用を目的としたものではない。
- c、○ d 塩化ベンゼトニウム、塩化セチルピリジニウムは、抗菌作用を目的として配合されている。

正解 c、d

📖 DH19:P126

[問題 18] 成熟プラークで表層部に比べた深層部の特徴はどれか。2つ選べ。

- a pHが低い。
- b 緩衝能が高い。
- c 代謝産物が多い。
- d 嫌気性菌が少ない。

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a プラーク表層部は比較的好気的条件下であり、グルコースの供給も十分であるため、表層では乳酸が主として生成される。一方、深層部は嫌気的条件下となるため、辛酸や酢酸、プロピオン酸などが生成され、表層部に比べpHは低い状態である。
- × b 深層部では緩衝能が低いため、著しいpHの低下がみられる。
- c 深層になるにつれ、代謝産物の量は増加する。
- × d プラーク量の増加と共に偏性嫌気性菌の発育が可能となり、嫌気性菌が主体となる。

正解 a、c

📖 要点集 281:P40

[問題 23] 我が国の将来推計人口で、2025年に現時点よりも増加していることが予想されるのはどれか。2つ選べ。

- a 総人口
- b 年少人口
- c 老年人口
- d 従属人口指数

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 我が国の総人口は、長期の人口減少過程に入り、2026年に人口1億2,000万人を下回った後も減少を続け、2048年には1億人を割って9,913万人となり、2060年には8,674万人になると推計される。
- × b 人出生数は減少を続け、2060年には、48万人になると推計されている。この減少により、年少人口(0~14歳)は2046年に1,000万人を割り、2060年には791万人と、現在の半分以下になると推計される。
- c 高齢者人口は今後、「団塊の世代」(昭和22(1947)~24(1949)年生まれ)が65歳以上となる2015年には3,395万人となり、「団塊の世代」が75歳以上となる2025年には3,657万人に達すると見込まれている。その後も高齢者人口は増加を続け、2042年に3,878万人でピークを迎え、その後は減少に転じると推計される。
- d 年少人口と老年人口の合計が生産年齢人口に対して占める比率である。働き手である生産年齢人口100人が年少者と高齢者を何人支えているかを示す。
従属人口指数 = (年少人口 + 老年人口) ÷ 生産年齢人口 × 100 で算出する。近年の推移は上昇傾向である。

正解 c、d

DH19:P198

[問題 24] 健康格差で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 健康寿命と平均寿命の差である。
- b 近年の日本では減少傾向にある。
- c 自然災害は格差の拡大をもたらす。
- d 健康の社会的決定要因と関係している。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 平均寿命と健康寿命との差は、日常生活に制限のある「不健康な期間」を意味する。
- × b この10年から20年間に社会・経済状況の変化に伴い、低所得層の増加、一人暮らし世帯の急増など健康格差は拡大している。
- c 健康格差とは、地域や社会経済状況の違いによる集団における健康状態の差と定義される。不平等や、国際的な対応が不十分な気候変動・公害・戦争・自然災害は格差の拡大をもたらす。
- d 健康の社会的決定要因は、健康格差に最も大きな影響を及ぼしている。健康の社会的決定要因とは、人々が生まれ、成長し、生活し、働き、年をとる中での状況であり、医療システムも含まれる。

正解 c、d

DH19:P147

[問題 21] 施設入所高齢者を2群に分け、介入群に対しては専門的口腔ケアを実施し、対照群には従前の口腔ケアを実施した。その結果を表に示す。

	肺炎発症	肺炎発症せず	計
介入群	10名	90名	100名
対照群	20名	80名	100名
計	30名	170名	200名

介入群の対照群に対する肺炎発症の相対危険度はどれか。

- a 0.2
- b 0.5
- c 1.0
- d 2.0

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

相対危険度とは2つの集団間の疾病発生頻度の比で、コホート研究により算出できる。曝露群(介入群)の非曝露群(対照群)に対する疾病頻度(罹患率、累積罹患率)の比で、非曝露群に対する曝露群の相対危険度が大きければ、その要因と疾病罹患との関連が強いことを表している。

相対危険度は、以下の式で求められる。

$$\text{相対危険度} = \frac{\text{曝露群の疾病頻度}}{\text{非曝露群の疾病頻度}}$$

$$\text{曝露群の疾病頻度} = \frac{10}{100}, \text{非曝露群の疾病頻度} = \frac{20}{100}$$

$$\text{従って相対危険度は、} \left(\frac{10}{100} \right) / \left(\frac{20}{100} \right) = 0.5$$

正解 b

[問題 22] 健康増進法に基づき市町村が行う健康増進事業はどれか。2つ選べ。

- a 特定健康診査
- b 歯周疾患検診
- c 骨粗鬆症検診
- d 国民健康・栄養調査

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 特定健康診査は高齢者の医療の確保に関する法律に基づき医療保険者が実施する。
- b 歯周疾患検診は健康増進法に基づき40歳、50歳、60歳、70歳の者を対象として市町村が行う健康増進事業である。
- c 骨粗鬆症検診は40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の女性を対象として市町村が行う健康増進事業である。
- × d 国民健康・栄養調査は健康増進法に基づいて厚生労働大臣が実施する。

正解 b、c

DH19:P193

〔問題 25〕 我が国の公的年金制度で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 強制加入保険である。
- b 給付開始は75歳である。
- c 40歳以上の国民が被保険者である。
- d 被用者保険では事業主も保険料を負担する。

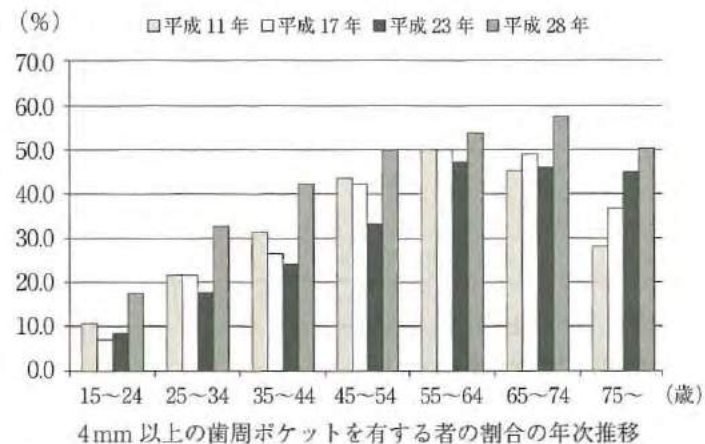
▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 我が国では国民皆年金制度がとられており、20歳以上のすべての国民に国民年金への加入が義務付けられている(強制加入)。
- × b 老齢年金は65歳、障害年金、遺族年金は当該事象が発生した際に給付が開始される。
- × c 40歳以上の国民が被保険者であるのは介護保険である。
- d 被用者保険では事業主と被保険者が半分ずつ負担する。

正解 a、d

〔問題 26〕 平成28年歯科疾患実態調査による「4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合の年次推移」の結果を図に示す。



高齢者において4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合が増加している理由として考えられるのはどれか。

- a 平均寿命が延長した。
- b 要介護高齢者が増加した。
- c 歯垢の磨き残しが増加した。
- d 一人平均現在歯数が増加した。

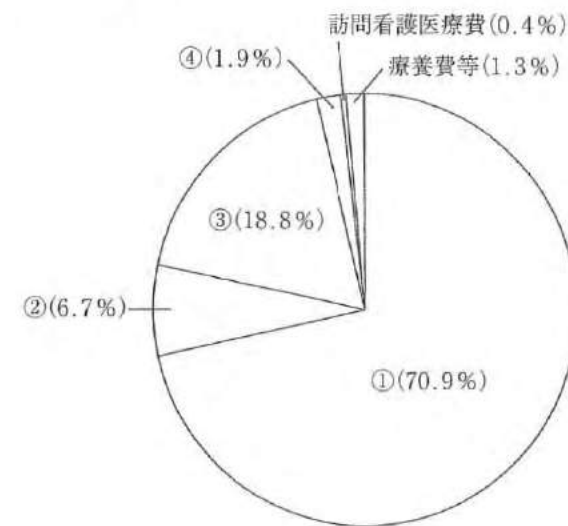
▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a グラフは年齢群別で示しており、平均寿命が長くなったことが原因であるとの説明は困難である。
- × b グラフは要介護高齢者の割合ではなく、説明が困難である。
- × c 近年、高齢者の歯垢の磨き残しが増加したと考えられる根拠が乏しい。
- d 近年の少子高齢化により、老年人口が増加するだけでなく、高齢者になっても、多くの歯が保たれるようになり、口腔ケアの重要性が一段と増している。高齢者の喪失歯が減少したことにより、歯周病の有病者率が増加したためと考えられる。

正解 d

〔問題 27〕 平成27年度の我が国の診療種類別国民医療費構成割合の図を示す。



歯科診療医療費はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a ①は内科診療医療費である。
- b 国民医療費は、年度内の医療機関等における内科診療や歯科診療にかかる診療費、薬局調剤医療費、入院時食事・生活医療費、訪問看護医療費等を推計したものである。②は歯科診療医療費である。
- × c ③は薬局調剤医療費である。
- × d ④は入院時食事・生活医療費である。

正解 b

DH19:P197

【問題 28】ヘルスプロモーションを進めていくための基本的な3つの要素として、「唱道」、「能力の付与」、「①」がある。

- ①に入るのはどれか。
 a 支援
 b 調停
 c 助言
 d 説得

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- b ヘルスプロモーションとは、WHO（世界保健機関）が1986年のオタワ憲章において提唱した新しい健康観に基づく21世紀の健康戦略で、「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」と定義されている。「すべての人びとがあらゆる生活舞台-労働・学習・余暇そして愛の場-で健康を享受することのできる公正な社会の創造」を健康づくり戦略の目標としている。

正解 b

DH19:P165

【問題 29】未熟児に対する養育医療の給付を定めているのはどれか。

- a 健康保険法
 b 児童福祉法
 c 母子保健法
 d 障害者総合支援法

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- ×a 健康保険法は、医療保険制度を規定している。
 ×b 児童福祉法は、児童福祉の基盤として位置づけられた法律である。
 ○c 母子保健法は、母性および乳幼児の健康の保持・増進のため、保健指導・健康診査・医療その他の措置について定めている法律である。
 ×d 障害者総合支援法は、障害者に対して障害福祉サービスに係る給付・地域生活支援事業による支援を行うことを目的とした法律である。

正解 c

DH19:P170

【問題 30】小学校における歯科健康診断で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 顎関節の状態を検査する。
 b 保健調査は定期健康診断後に実施する。
 c 臨時の歯科健康診断は全児童を対象として行う。
 d 歯科健康診断の分析結果を学校保健委員会で説明する。

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 顎関節の状態を0、1、2で評価する。
 ×b 保健調査は定期健康診断の前に実施し、健康診断の際の資料とする。
 ×c 臨時の歯科健康診断はCOの対象者等、必要な者に対して実施される。
 ○d 健康診断の分析結果は学校保健委員会で報告され、委員会での討議資料として用いられる。

正解 a, d

DH19:P142

【問題 31】歯科衛生士法第2条の一部を示す。

「歯科衛生士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、歯科医師の（①）の下に、歯牙及び口腔の疾患の予防処置として次に掲げる行為を行うことを業とする者をいう。
 一 歯牙露出面及び正常な歯茎の遊離縁下の付着物及び沈着物を機械的操作によって除去すること。
 二 歯牙及び口腔に対して薬物を塗布すること。

- ①に当てはまるのはどれか。
 a 監督
 b 管理
 c 指導
 d 説明

▶歯科衛生士概論

選択肢考察

- c 予防処置では、歯科医師（歯科医業をなすことのできる医師を含む。以下同じ。）の指導の下に、これを行うことが規定されている。

正解 c

DH19:P227

[問題 32] 現病歴で記載するのはどれか。

- a 主訴についての経過
- b これから受ける治療内容
- c 受診する動機となった症状
- d 出生から来院までの健康状態

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- a 主訴についての経過は**現病歴**である。
- × b これから受ける治療内容は**治療計画**といえる。
- × c 受診する動機となった症状は**主訴**である。
- × d 出生から来院までの健康状態は**既往歴**である。

正解 a

[問題 33] 初診時の医療面接の目的はどれか。2つ選べ。

- a 保険証の確認
- b 患者不安の解消
- c ラポールの構築
- d 特定治療への誘導

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a 保険証の確認は医療面接の目的とはいえない。
- b 医療者との信頼関係の構築の中で患者不安は解消されていく。
- c ラポールの構築は医療面接で特に重要視されている。
- × d 治療方法は患者が決定するものであり、特定の方法への誘導は適切ではない。

正解 b、c

[問題 34] 寒天・アルジネート連合印象法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 印象採得は30秒以内に終了する。
- b 窩洞および周囲の歯面に寒天を塗布する。
- c 印象表面が乾燥する前に石膏を注入する。
- d 寒天が硬化したらアルジネートを圧接する。

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a 硬化するまでの時間は製品によるが、少なくとも**3～5分**はかかる。
- b 寒天の細部再現性を十分に活用する印象法である。
- c 乾燥させると水分が蒸発し収縮を生じるため適切ではない。印象後はできるだけ早く石膏を注入する。
- × d 硬化前の方がアルジネートの馴染みもよく、圧排されることにより精密さが増す。

正解 b、c

[問題 35] Hellman の歯齡で乳歯の咬合が完成する時期はどれか。

- a I A
- b II A
- c III A
- d IV A

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- b Hellman の歯齡では、出生時の無菌期の状態から第二大臼歯萌出完了期 (IV A) までの4段階で評価している。Aは“attained”のAで、「**完成された状態**」を意味し、Cは“commenced”のCで「**なにかが始まった状態**」を意味する。設問は全乳歯が萌出し、かつ永久歯は未萌出である。II Aは**乳歯列完成期**である。

正解 b

DH19:P378

[問題 36] 歯科用デジタルエックス線撮影システムの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 被曝線量が多い。
- b 画像処理ができる。
- c 画像の検索に時間を要する。
- d 画像を電子媒体に保管できる。

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a 感度が高いので少ない線量で撮影できる。
- b 画像はデジタル化されているため、画像処理が可能である。
- × c コンピュータに画像が保管されているので画像検索に時間はかからない。
- d デジタルデータとして保管できる。

正解 b、d

DH19:P243

[問題 37] 尿を検体として用いる検査項目はどれか。2つ選べ。

- a PT
- b BUN
- c ケトン体
- d HbA1c 値

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a PT (プロトロンビン時間) は血液凝固因子に関するもので、**血液**を検体とする。
- b BUN (尿素窒素) は、腎臓から尿中に排泄されるもので、腎機能検査項目の1つである。
- c ケトン体は糖尿病や、飢餓状態で脂肪酸がエネルギーとして用いられた際に、血中や尿中に蓄積する。糖尿病や飢餓でケトン体が過剰に生成されると、**尿中**にケトン体が含まれるようになる。
- × d HbA1c 値は**血液**を検体として用い、これらの血中濃度を検査する。

正解 b、c

[問題 40] ニッケルチタン製ファイルの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 破折しにくい。
- b 形状記憶特性を有する。
- c 金属疲労が確認しやすい。
- d マイクロモーターに装着して使用する。

▶ 歯内療法学

選択肢考察

- × a 僅かな回転力(トルク)でファイルの破折が起こりやすい。
- b、○ d ニッケルチタンファイルは超弾性の形状記憶合金であり、柔軟性があるため根管追従性が良いのが特徴である。使用時にマイクロモーターに装着する。
- × c 金属疲労が確認しづらく、突然破折する欠点がある。

正解 b、d

DH19:P320

[問題 41] 9歳の男子。下顎右側第三大臼歯の激しい自発痛を主訴として来院した。同部インレーを除去すると近心隣接面にう窩が確認され、抵抗値は15.0kΩであった。温刺激に誘発痛を訴えたが、打診には反応しない。初診時のエックス線写真(別冊午後 No. 4)を別に示す。

疑われるのはどれか。

- a 急性単純性歯髄炎
- b 急性化膿性歯髄炎
- c 慢性潰瘍性歯髄炎
- d 歯髄壊死

▶ 歯内療法学

選択肢考察

- × a 急性単純性歯髄炎では冷刺激に対し痛みを発現する。
- b 急性化膿性歯髄炎では持続性の拍動痛と温熱痛がみられる。
- × c 慢性潰瘍性歯髄炎では自発痛はみられない。
- × d 歯髄壊死では自発痛や温熱痛はみられない。

正解 b

DH19:P326

No. 4



[問題 38] 修復物脱落の直接因子はどれか。2つ選べ。

- a 咬合圧
- b 二次う蝕
- c 修復物の破損
- d 食物の粘着力

▶ 保存修復学

選択肢考察

- a、○ d 修復物脱落の原因には、修復物に直接与えられた外力によって脱落する直接因子と、微弱な直接因子によって容易に脱落する間接因子がある。咬合圧、食物の粘着力は直接因子である。
- × b、× c 二次う蝕、修復物の破損は間接因子である。

正解 a、d

[問題 39] 69歳の女性。下顎前歯と小臼歯歯頸部の変色を主訴として来院した。コンポジットレジンで再修復することになった。用いる器具を表に示す。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 3)を別に示す。

- ① シリコーンポイント
- ② デンティンボンディング材
- ③ 球状ダイヤモンドポイント

修復に用いる材料・器具の使用順序はどれか。

- a ①→②→③
- b ②→③→①
- c ③→①→②
- d ③→②→①

▶ 保存修復学

選択肢考察

- d コンポジットレジンで再修復する際は、球状ダイヤモンドポイントで旧修復物を除去し、露出した歯質にう蝕がみられないことを確認してコンポジットレジンを填塞する。コンポジットレジン填塞に先立って、窩壁には接着処理が必要である。填塞したコンポジットレジン最終的にシリコーンポイントを用いて研磨する。

正解 d

No. 3



[問題 43] 25歳の女性。歯の動揺を主訴として来院した。数年前から気付いていたが放置していたところ、歯の動揺が悪化してきたという。歯周組織検査の結果、BOPを伴う平均6mmのポケットがみられ、動揺度は1~2度であった。初診時の口腔内写真(別冊午後No. 6 A)とエックス線写真(別冊午後No. 6 B)を別に示す。

- 疑われるのはどれか。
- a 歯周膿瘍
 - b 侵襲性歯周炎
 - c 壊死性潰瘍性歯周炎
 - d プラーク誘発性歯肉炎

▶歯周治療学



選択肢考察

- × a 口腔内写真で膿瘍形成は認められない。
- b 若年者にも関わらず全顎的な重度の歯槽骨吸収があることから、**侵襲性歯周炎**と診断される。
- × c 歯間乳頭部に潰瘍、壊死組織は認められない。
- × d 高度な歯槽骨吸収がみられるため歯周炎である。

正解 b

DH19:P282

[問題 44] 口呼吸患者の歯肉にみられるのはどれか。2つ選べ。

- a クレフト
- b 口呼吸線
- c 堤状隆起
- d フェストウーン

▶歯周治療学

選択肢考察

- × a クレフトは歯肉のV字状裂溝で、不適切なブラッシングや咬合性外傷によって生じる。
- b 口呼吸線は口呼吸患者にみられる特徴的所見であるが、**唇側歯肉**に認められる。
- c テンションリッジ(堤状隆起)は、**口呼吸患者の口蓋側歯肉**に認められる特徴的所見である。
- × d フェストウーンは、辺縁歯肉にみられる**ロール状の肥厚**で、不適切なブラッシングや咬合性外傷によって生じる。

正解 b, c

[問題 42] 42歳の女性。上顎右側側切歯の根尖部腫脹を訴えて来院した。2]に対して根尖外科手術を実施することになった。初診時のエックス線写真(別冊午後No. 5 A)と処置中の口腔内写真(別冊午後No. 5 B)を別に示す。その後に行った処置を表に示す。

- ① 縫合
- ② 根尖切除
- ③ 逆根管充填
- ④ 肉芽組織の搔爬

正しい順序はどれか。

- a ③→②→④→①
- b ③→④→②→①
- c ④→②→③→①
- d ④→③→②→①

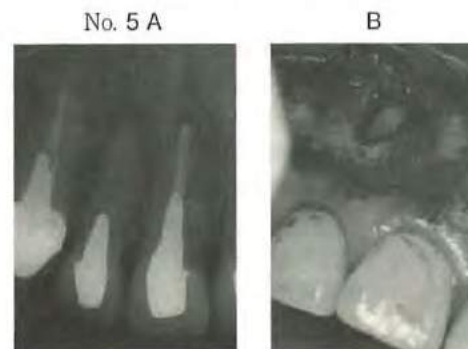
▶歯内療法学

選択肢考察

○ c 根尖切除術の手順は**切開→病変部の確認→肉芽組織の搔爬→根尖切除→逆根管充填→縫合**となる。本症例では歯肉切開を行って歯肉翻転し、病変部を確認している状態なので、続いて行うのは肉芽組織の搔爬となる。

正解 c

DH19:P327



〔問題 45〕 歯周基本治療中の口腔内写真(別冊午後 No. 7 A)と用いた薬剤の写真(別冊午後 No. 7 B)を別に示す。

この処置はどれか。

- a ENAP
- b GTR
- c LDDS
- d SRP

▶歯周治療学

No. 7 A



B



選択肢考察

- × a ENAP は新付着術である。
- × b GTR 法は歯周組織再生療法である。
- c 写真は局所薬物配送システム(LDDS)を行っている。LDDSは歯周基本治療の1つで、歯周ポケットに抗菌薬(テトラサイクリン系)や抗炎症薬を局所適用する方法である。
- × d SRP はスケーリング・ルートプレーニングである。

正解 c

DH19:P293

〔問題 46〕 70歳の女性。食事困難を主訴として来院した。全部床義歯を製作することになった。義歯製作中の写真(別冊午後 No. 8)を別に示す。

この操作で確認するのはどれか。

- a 咬合平面
- b 眼窩下点の位置
- c 水平的顎間関係
- d 垂直的顎間関係

▶歯科補綴学

No. 8



選択肢考察

- × a 咬合平面は咬合平面板で確認する。
- × b 眼窩下点の位置はゴシックアーチで確認できない。眼窩下点はフェイスボウトランスファーの基準点となる。
- c 水平的顎間関係を確認するためにゴシックアーチを描記させる。ゴシックアーチ描記法は水平的顎間関係の決定や診断を行う方法である。定められた咬合高径における下顎の左右の側方限界運動の軌跡を描記させる。その描記図をゴシックアーチという。
- × d 垂直的顎間関係は顔面計測法や安静空隙利用法、発音利用法、最大咬合力計測法などで記録する。咬合高径を決めた後、水平的顎間関係の記録をする。

正解 c

DH19:P336

〔問題 47〕 下顎右側大臼歯部に装着されたインプラント上部構造の写真(別冊午後 No. 9)を別に示す。

①の装着法が②より優れるのはどれか。2つ選べ。

- a 審美性がよい。
- b 自浄性がよい。
- c セメントの取り残しがない。
- d 術者によるメンテナンスが容易である。

▶歯科補綴学

No. 9



①
(スクリュー固定式)

②
(セメント固定式)

選択肢考察

- × a 固定方法ではなく上部構造の種類により審美性は影響される。
- × b 自浄性は上部構造の形態に影響される。
- c ①はスクリュー固定式、②はセメント固定式である。ネジ固定式はセメントを使用しないので取り残しがない。
- d ネジ固定式は術者によるメンテナンスが容易である。

正解 c、d

[問題 50] 72歳の男性。左口角から水がもれることを主訴として来院した。今朝、洗顔時に気付いたという。顔面や口腔内に痛みはない。初診時に口笛を試みたときの顔貌写真(別冊午後No.12)を別に示す。

この疾患で他にみられる症状はどれか。

- a 目の乾燥
- b 舌の乾燥
- c 閉口障害
- d 治癒後の顔面知覚異常

▶口腔外科学

選択肢考察

- a 顔貌写真から顔面神経麻痺と診断できる。顔面表情筋の麻痺により眼裂閉鎖不全が生じる。眼輪筋の麻痺により眼裂の閉鎖不全が生じ、その結果、目の乾燥をきたす。
- × b 顔面神経は舌下腺、顎下腺の唾液の分泌に関与しているが、片側性の顔面神経麻痺では著明な口腔乾燥は生じることはなく舌の乾燥はみられない。
- × c 閉口運動は、咀嚼筋によって行われるが、咀嚼筋の神経支配は三叉神経であるため顔面神経麻痺では閉口障害は生じない。
- × d 帯状疱疹では水疱治癒後に顔面の知覚異常がみられることがある。

正解 a

DH19:P368

No.12



鼻唇溝の形成が弱い。
口角がひけない。

[問題 51] マルゲース圧痛がみられるのはどれか。

- a 膿瘍
- b 骨折
- c 唾石症
- d 三叉神経痛

▶口腔外科学

選択肢考察

- × a 膿瘍でも圧痛を生じるが、マルゲース圧痛ではない。
- b 骨折線に一致した強い圧痛をマルゲース圧痛という。
- × c 唾石症では摂食時に鋭い放散痛(唾石痛)を生じることがある。
- × d 三叉神経痛は激しい電撃様疼痛として起こるが、通常圧痛はみられない。

正解 b

DH19:P370

[問題 48] 部分床義歯作製時に用いる器具の写真(別冊午後No.10)を別に示す。

この器具の目的はどれか。

- a 床用レジンの重合
- b 咬合器顎路角の調節
- c 支台歯の平行性の測定
- d 水平的下顎運動の記録

▶歯科補綴学

選択肢考察

- × a 床用レジンの重合は、蠟義歯試適後にフラスコを用いて行う。
- × b 顎路角の調節はチェックバイト法で行う。
- c 写真はサベイヤである。作業用模型上の支台歯(残存歯)および顎堤のアンダーカットや支台歯の平行性を測定し、レストや維持装置、連結子などの設計を行う。
- × d 水平的下顎運動の記録はゴシックアーチである。

正解 c

No.10



[問題 49] 64歳の女性。口底の膨隆を主訴として来院した。約2か月前から同部が徐々に腫大したという。顔貌所見に異常は認められなかった。触診により波動が認められ、無痛性であった。初診時の口腔内写真(別冊午後No.11)を別に示す。

考えられるのはどれか。

- a 舌癌
- b 下顎隆起
- c エナメル上皮腫
- d ガマ腫(ラヌーラ)

▶口腔外科学

選択肢考察

- × a 舌癌は舌に発生する悪性腫瘍である。口底部には発生しない。
- × b 下顎隆起は下顎骨舌側に発生するもので、骨硬様である。
- × c エナメル上皮腫は下顎大白歯部に好発する良性腫瘍である。
- d 写真はガマ腫(ラヌーラ)である。ガマ腫は粘液嚢胞で触診により波動が認められる。

正解 d

No.11



DH19:P359

【問題 52】 舌の写真(別冊午後 No.13)を別に示す。
鉄欠乏性貧血によってみられるのはどれか。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶口腔外科学

No.13



①



②



③



④

選択肢考察

- × a ①は黒毛舌である。黒毛舌は、抗菌薬の長期投与による口腔常在細菌叢に変化(菌交代現象)が原因で生じる舌の病変である。
- b ②は平滑舌である。鉄欠乏性貧血や悪性貧血が原因で生じる。
- × c ③は地図状舌である。舌背にみられる地図状の赤色斑で日により移動、変形するもので、原因は不明である。
- × d ④は粘液嚢胞である。唾液腺の流出障害によって生じ、粘膜面から半球状に膨隆し、境界明瞭な波動性のあるやわらかい腫瘍である。

正解 b

【問題 53】 Angle のⅡ級1類と比較した Angle のⅡ級2類の不正咬合の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 呼吸様式が口呼吸である。
b オーバーバイトが小さい。
c オーバージェットが小さい。
d FH 平面に対する上顎中切歯歯軸傾斜角が小さい。

▶矯正歯科学

選択肢考察

- × a 口呼吸を伴うのは、Angle Ⅱ級1類である。
- × b Angle Ⅱ級1類の場合のオーバーバイトは大きいものと小さいものの両方がみられるが、2類のオーバーバイトは必ず大きい。
- c 上顎前歯は舌側傾斜しているため、オーバージェットが小さくなる(唇側傾斜している場合は大きくなる)。
- d 上顎前歯は舌側傾斜しているため、FH 平面に対する上顎中切歯歯軸傾斜角は小さくなる。

正解 c、d

DH19:P400

【問題 54】 歯の移動の模式図を示す。



上顎切歯の移動様式はどれか。

- a 圧下
b トルク
c 歯体移動
d 傾斜移動

▶矯正歯科学

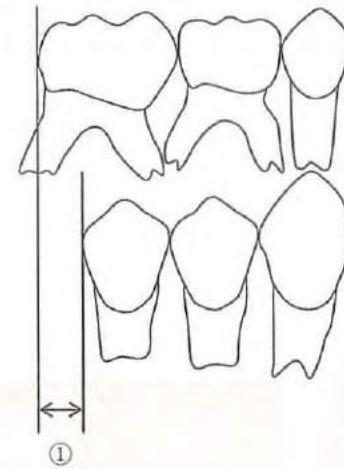
選択肢考察

- × a 圧下は歯根方向への移動である。
- × b トルクは歯冠部を中心とした歯根の傾斜移動である。
- c 歯体移動は、歯根が歯軸傾斜角を変化させずに歯軸に平行に移動するものである。
- × d 傾斜移動は歯根根尖側1/3を中心とした移動である。

正解 c

DH19:P403

[問題 57] 乳歯側方歯群と後継永久歯の関係の模式図を示す。



- ①が示すのはどれか。
- a 発育空隙
 - b 靈長空隙
 - c ターミナルプレーン
 - d リーウェイスペース

▶小児歯科学

選択肢考察

○d 設問の図の矢印で示されているのはリーウェイスペースである。上下顎の側方歯群の乳歯と永久歯の歯冠近遠心幅径の総和を比較すると、乳歯側方歯群の歯冠近遠心幅径の総和の方が大きい。これをリーウェイスペースとよび、上顎片側で1mm、下顎片側で3mm存在する。リーウェイスペースは第一大臼歯の咬合安定や、前歯部の歯軸の安定、側方歯群永久歯の咬頭嵌合の正常化に関与していると考えられている。

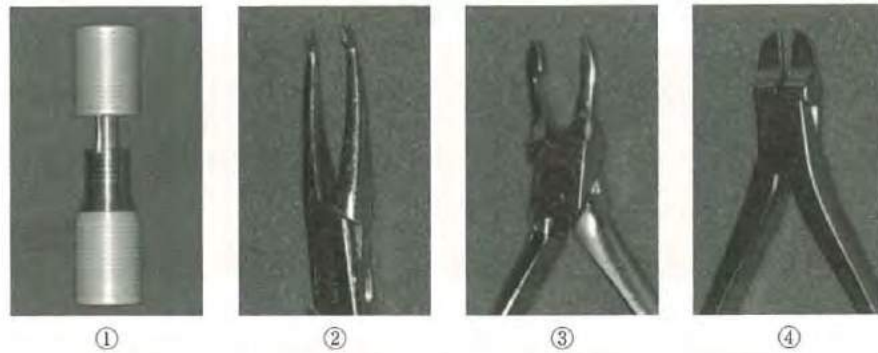
正解 d

[問題 55] 矯正器具の写真(別冊午後 No.14)を別に示す。
エッジワイズワイヤーの屈曲に使用するのどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶矯正歯科学

No.14



選択肢考察

- a ①はアーチフォーマー(ターレット)である。ワイヤーの屈曲、特に前歯部の弧を製作する。
- ×b ②はホウのブライヤーである。ワイヤーや装置の撤去、装着等に用いられる。リガチャーワイヤーの結紮にも使用される。
- ×c ③はカントゥアリングブライヤーである。バンドの豊隆、形態の調整に使用する。
- d ④はツイードのアーチベンディングブライヤーである。エッジワイズ法の角線の屈曲に用いられる。

正解 a, d

DH19:P706

[問題 56] 頭囲と胸囲が等しくなる時期はどれか。

- a 出生時
- b 1歳
- c 2歳
- d 3歳

▶小児歯科学

選択肢考察

○b 出世時の頭囲は約33cm、胸囲は約32cmであり、頭囲は脳神経の発達の影響により、胎児期に発育が著しいために、わずかに高い。出生時の頭囲は成人の60%に達している。出生後に胸筋や肺、心臓が発育するために、満1歳で頭囲と胸囲が約45cmとなりほぼ同じになる。その後、胸囲が徐々に大きくなり、頭囲を超える。

正解 b

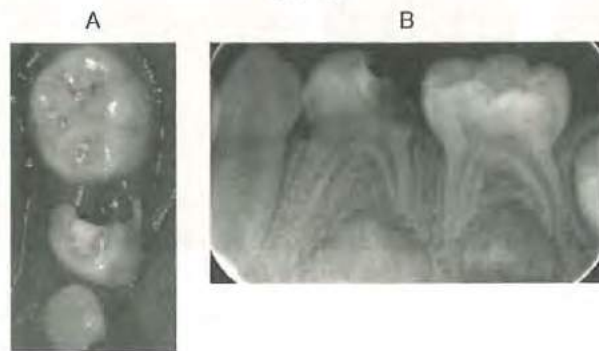
【問題 58】 5歳の女児。下顎左側臼歯部の疼痛を主訴として来院した。下顎左側第一乳臼歯以外のすべての乳歯に重度のう蝕は認められない。診断の結果、Dを抜歯することになった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.15A)とエックス線写真(別冊午後 No.15B)を別に示す。

抜歯後に用いる装置はどれか。

- a 可撤保隙装置
- b バンドループ
- c ディスタルシュー
- d ナンスのホールディングアーチ

▶小児歯科学

No. 15



選択肢考察

- × a 可撤保隙装置は複数歯の保隙に用いられるが、本症例は1歯のみである。
- b バンドループはクラウンループと同様の症例で用いることができる。乳歯列期における単数歯の保隙に際し、第一乳臼歯の早期喪失には第二乳臼歯を支台としたクラウンループやバンドループが用いられる。
- × c ディスタルシューは第一大臼歯未萌出時の第二乳臼歯の早期喪失に用いる。
- × d ナンスのホールディングアーチは上顎に用いる保隙用装置である。

正解 b

【問題 59】 75歳の女性。ある疾患にて服薬加療中であるという。医療面接中に絶え間なく、繰り返し唇をすぼめたり、舌を左右に動かしたりする不随意運動が観察された。

治療薬の長期投与による副作用として、このような症状が発現しやすい原疾患はどれか。2つ選べ。

- a 高血圧症
- b 骨粗鬆症
- c 統合失調症
- d パーキンソン病

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- × a 高血圧症の治療薬でニフェジピン(Ca拮抗薬)は歯肉増殖症がみられるが、不随意運動は認めない。
- × b 骨粗鬆症の治療薬のうち、ビスホスホネート製剤ではビスホスホネート系薬剤関連顎骨壊死を引き起こすことがあるが、パーキンソニズムは生じない。
- c 統合失調症に使用される薬は脳の過剰なドーパミンをブロックする働きを有するため、パーキンソン病のような神経症状の副作用を起こしてしまうことがある。
- d パーキンソン病の治療薬は、精神神経系の副作用として不随意運動がみられる。

正解 c、d

【問題 60】 フレイルの状態はどれか。2つ選べ。

- a 腰痛
- b 骨折
- c 疲れやすい
- d 歩行速度の低下

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- × a、× b 腰痛、骨折はフレイルではなく疾患である。
- c、○ d フレイルとは加齢に伴う、心身の活力の低下で「虚弱」や「老衰」と訳される。Friedが提唱した基準には以下の5項目があり、3項目以上が該当するとフレイルと判断する。
 - 1 体重減少
 - 2 疲れやすい
 - 3 歩行速度の低下
 - 4 握力の低下
 - 5 身体活動量の低下

正解 c、d

【問題 61】 複雑な行動を実行可能な方法から学習させ少しずつ強化する行動形成法はどれか。

- a シェイピング法
- b タイムアウト法
- c レスポンスコスト法
- d トークンエコノミー法

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- a シェイピング法とは、目標とする行動をいきなり獲得させるのではなく、最終的な目標行動に至るまでの行動を、容易にできるものから順にスモール・ステップで段階的に分割し、その行動が生じたら強化を行うことで、徐々に目標行動の獲得へ近づけていく方法である。知的障害児、自閉症児に適応的な社会行動を習得させる方法として多く用いられる。
- × b タイムアウト法は、治療の場から一度隔絶する方法である。
- × c レスポンスコスト法は、負の強化法である。
- × d トークンエコノミー法は、頑張った出来たところをすごく褒めてあげる、あるいはご褒美をあげるなどして正の強化を行う方法である。

正解 a

【問題 62】 脳性麻痺患者における歯科治療時の対応で最も適切なのはどれか。

- a 側臥位にする。
- b 関節を固定する。
- c 膝を屈曲させる。
- d 腕を伸展させる。

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- × a 側臥位での歯科治療は困難である。
- × b、× d 筋緊張や不随意運動のため、関節を固定したり、腕を伸展させることはしない。
- c 膝を屈曲させたポバースの反射抑制肢位をとらせると、体位が安定し、歯科治療を受けやすくなる。

正解 c

DH19:P703

【問題 63】 1歳6か月児歯科健康診査でO₂型に分類されるのはどれか。2つ選べ。

- a 祖父母が養育者である。
- b 間食時間が決まっている。
- c 指しゃぶりが継続している。
- d 哺乳ビンでスポーツ飲料を飲んでいる。

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a 祖父母が養育者の場合は、う蝕罹患のリスクが高いといわれている。
- × b 口腔環境の改善に好ましい習慣である。
- × c 指しゃぶりは一般に3、4歳頃まで生理的に生じる。
- d 1歳6か月は離乳が完了する時期であり、また、スポーツ飲料などの糖質含有飲料は、う蝕罹患のリスクを生じる。

正解 a、d

DH19:P140

【問題 64】 歯周組織に対する喫煙の影響はどれか。2つ選べ。

- a 歯肉血流量の低下
- b 仮性ポケットの形成
- c アタッチメントゲインの促進
- d 歯肉動脈血酸素飽和度の低下

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a、○ d ニコチンの影響で末梢血管の収縮が起こり、その結果歯肉血流量の低下や酸素飽和度の低下が起こる。
- × b 歯周組織の破壊を生じやすくなり、アタッチメントロスが増加する。すなわち、真性ポケットの形成が進行する。
- × c アタッチメントロスが促進される。

正解 a、d

DH19:P279

以下の文により [問題 65]、[問題 66] の問いに答えよ。

39歳の男性。定期検診のため来院した。歯垢染色後のチャート (O' Leary の PCR による) (別冊午後 No.16) を別に示す。

[問題 65] この患者の PCR 指数はどれか。

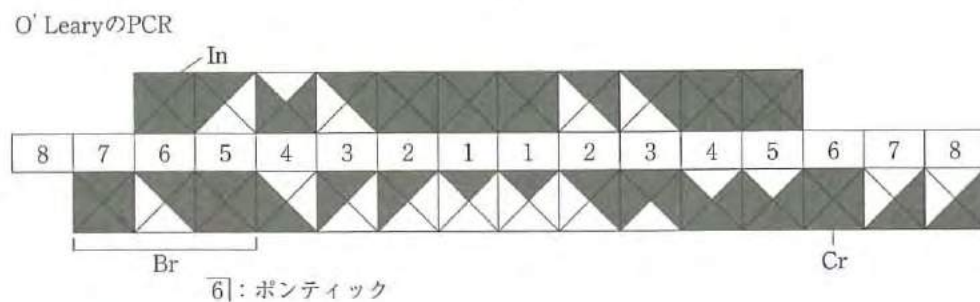
- a 60%
- b 62%
- c 66%
- d 70%

[問題 66] この患者に指導する補助的清掃器具で適切でないのはどれか。

- a 歯間ブラシ
- b 水流圧洗浄器
- c ラバーチップ
- d デンタルフロス

▶ 歯科予防処置

No. 16



選択肢考察

[問題 65]

- d PCR は歯頸部のプラークの付着の有無を評価する。対象歯は第3大臼歯を含む全歯で、ブリッジのポンティックは対象外とするが、全部被覆冠、インレー修復されている歯は対象歯となる。

$$\frac{70 \text{ 歯面}}{25 \text{ 歯} \times 4 \text{ 歯面}} \times 100 = 70\%$$

[問題 66]

- a ポンティックと支台歯との空隙の清掃には歯間ブラシを使用する。
- × b 水流圧洗浄器は食物残渣の除去やポンティック部の清掃に使用するが、歯垢の除去効率は高くなく設問の場合は適切ではない。
- c ラバーチップは歯間空隙に挿入して歯肉マッサージを目的として使用する。
- d デンタルフロスは歯間に挿入して、歯面に圧接しながら上下方向に動かして歯垢を除去する。

正解 [問題 65] d
[問題 66] b

[問題 67] CPI プローブで診査する項目はどれか。2つ選べ。

- a 歯垢付着
- b 歯肉出血
- c 付着歯肉幅
- d ポケット深さ

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 歯垢の付着状況は診査項目には含まれない。
- b 歯肉からの出血は CPI プローブの挿入で診査する。
- × c 正確な歯周ポケット深さは測定できないため、付着歯肉幅は診査できない。
- d 大まかな歯周ポケット深さ (4~5mm、6mm 以上) は診査できる。

正解 b、d

DH19:P418

[問題 68] 37歳の男性。上顎右側中切歯部のブラッシング時の出血を主訴として来院した。歯周炎と診断し、ブラッシング指導と歯肉縁上スケーリングを行った。処置前と処置3週後の口腔内写真 (別冊午後 No.17) を別に示す。

1] 部に生じた変化の組合せで最も考えられるのはどれか。

- | | ポケット深さ | アタッチメントレベル |
|---|--------|------------|
| a | 不変 | 増加 |
| b | 不変 | 不変 |
| c | 減少 | 不変 |
| d | 減少 | 減少 |

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- c 口腔内写真で歯肉退縮が生じていることからポケットは減少している。歯肉縁下の処置は行っていないため、アタッチメントレベルは変わらない。

正解 c

DH19:P419

No. 17



処置前

処置3週間後

[問題 69] # 14 のグレーシートタイプキュレットの使用部位はどれか。

- a 左側中切歯唇側近心隣接面
- b 右側第一大臼歯頬側近心隣接面
- c 左側第一大臼歯舌側遠心隣接面
- d 右側第二大臼歯頬側近心隣接面

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 左側中切歯唇側隣接面は # 2 (のグレーシートタイプキュレット) を用いて行う。
- × b 右側第一大臼歯頬側近心隣接面は # 11 を用いて行う。
- c 左側第一大臼歯舌側遠心隣接面は # 14 を用いて行う。
- × d 右側第二大臼歯頬側近心隣接面は # 11 を用いて行う。

正解 c

DH19:P456

[問題 70] スケーリング後の歯周ポケット内の洗浄に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 過酸化水素水
- b ポビドンヨード
- c フッ化ナトリウム溶液
- d テトラサイクリン系抗菌薬

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a、○ b 歯周ポケット洗浄(ポケットイリゲーション)には過酸化水素水やポビドンヨード、アクリノールが用いられる。
- × c フッ化ナトリウム溶液はフッ化物歯面塗布やフッ化物洗口に用いられる。
- × d テトラサイクリン系抗菌薬は LDDS (局所薬物配送システム) に用いられる。

正解 a, b

[問題 71] SPT (supportive periodontal therapy) のリコール間隔の決定に際し考慮するのはどれか。2つ選べ。

- a 飲酒
- b 喫煙
- c 胃潰瘍
- d 糖尿病

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a、× c 飲酒、胃潰瘍は歯周病の環境因子ではなく、リコール間隔の決定に際し考慮する事項ではない。
- b 喫煙は歯周病のリスクファクターであり、環境因子である。従って喫煙の有無はリコール間隔の決定において考慮しなければならない。
- d 糖尿病や骨粗鬆症などの全身疾患は、歯周病の罹患性を高め、進行を促進することが明らかとなっている。従ってこれら全身性修飾因子を持つ患者では、リコール間隔の決定で十分考慮しなければならない。

正解 b, d

DH19:P296

[問題 72] う蝕リスクに反映するのはどれか。2つ選べ。

- a 唾液の脱灰能
- b 唾液の緩衝能
- c 唾液中乳酸桿菌数
- d 唾液中ブドウ球菌数

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 唾液に脱灰能はない。
- b 唾液の緩衝能は歯垢 pH の維持に影響するため、う蝕リスクに反映する。
- c 乳酸桿菌はう蝕病原細菌であり、口腔内とう窩があり、乳酸桿菌が多いと、唾液中乳酸桿菌数も多くなる。
- × d ブドウ球菌はう蝕病原細菌ではないため、唾液中ブドウ球菌数はう蝕リスクとは関連しない。

正解 b, c

DH19:P476

[問題 73] 8歳の男児。う蝕予防処置を希望して来院した。フッ化物応用時の口腔内写真(別冊午後 No. 18)を別に示す。

使用溶液と濃度の組合せで適切なものはどれか。

- a フッ化第一スズ ——— 0.5%
- b フッ化第一スズ ——— 5%
- c フッ化ナトリウム ——— 0.2%
- d フッ化ナトリウム ——— 2%

▶ 歯科予防処置

No. 18

選択肢考察

- × a、× b、○ d 写真はトレー法によるフッ化物歯面塗布である。フッ化物歯面塗布に用いられるフッ化物製剤には、2% フッ化ナトリウム溶液、リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液(酸性フッ素リン酸溶液: APF 溶液)、リン酸酸性フッ化ナトリウムゲル(APF ゲル)、8% フッ化第一スズ溶液がある。
- × c 0.2% フッ化ナトリウムはフッ化物洗口法(週一回法)で用いられる。



正解 d

DH19:P491

[問題 74] フッ化物歯面塗布でゲルを用いる場合の利点はどれか。2つ選べ。

- a 安価である。
- b 塗布状況が明瞭である。
- c 歯面への停滞性がよい。
- d フッ素の取り込み時間が短い。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a ゲルは溶液に比べ、やや高価である。
- b 塗布状況が明瞭で視認しやすい利点がある。
- c 液状の塗布剤に比べ、歯面への停滞性がよい。
- × d フッ素の取り込み時間は変わらず、塗布後30分間はうがいや飲食を行わないよう指導する。

正解 b, c

DH19:P491

[問題 75] 年齢と小窩裂溝填塞法適応歯との組合せで適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 7歳 —— 上顎側切歯
- b 10歳 —— 上顎犬歯
- c 13歳 —— 上顎第二大臼歯
- d 16歳 —— 下顎第一大臼歯

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 上顎側切歯は舌側に小窩がある場合があり適応となり、7歳は適応である。6歳では未萌出である。
- × b 小窩裂溝填塞の目的は、歯冠形態を修正して小窩裂溝を口腔環境から遮断することにより、う蝕予防をしようとするものである。永久歯では萌出後、概ね2~3年以内の深い小窩裂溝が適応となる。上顎犬歯には深い小窩はみられない。
- c 萌出間もないため適応となる。
- × d 萌出してすでに10年経過しており、適応とならない。

正解 a, c

[問題 76] 週一回法のフッ化物洗口液のフッ素濃度はどれか。

- a 250 ppm
- b 900 ppm
- c 9,000 ppm
- d 19,400 ppm

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 毎日法に用いるフッ化ナトリウム溶液は0.05~0.1% NaF (225~450 ppmF) である。
- b 900 ppm (0.2% NaF) は週一回法に用いるフッ化ナトリウム溶液である。
- × c 9,000 ppm (2% NaF) は歯面塗布法に用いるフッ化ナトリウム溶液である。
- × d 19,400 ppm (8% SnF₂) は歯面塗布法に用いるフッ化第一スズ溶液である。

正解 b

DH19:P490

[問題 77] フッ化物配合歯磨剤のう蝕予防効果を高めるための指導方法で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a ブラッシング終了後の飲食を控える。
- b ブラッシング途中の吐出を制限する。
- c 低濃度フッ化物配合歯磨剤を選択する。
- d ブラッシング終了後に多数回洗口する。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a フッ化物を口腔内に留めておくため、ブラッシング後の飲食を控える。
- b ブラッシング中はフッ化物が歯面に対し作用する時間であり、吐出を制限した方が効果的である。
- × c 配合されるフッ化物の濃度が高いほど効果は大きい。
- × d ブラッシング終了後の洗口はできるだけ少なくする。

正解 a, b

[問題 78] 小児の成長に伴う情動発達で、怒りや恐れが現れるのはどれか。

- a 生後3か月
- b 生後6か月
- c 1歳
- d 5歳

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 生後3か月で快・不快の情動の分化が現れる。
- b 6か月で不快が分化し怒り、嫌忌、恐れが現れる。
- × c 1歳では快が分化して得意と愛情が現れる。
- × d 5歳で成人と同じ情動の形態となる。

正解 b

[問題 79] ある工場に従業員に対して、社員100名に健康教育の依頼があった。内容として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 個別のブラッシング指導を行う。
- b 媒体にはペーパーサートを用いる。
- c う蝕予防と歯周疾患の予防が中心となる。
- d 事前調査で対象者が関心をもっている話題を話す。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 社員100名に対して個別のブラッシング指導を行うことは時間がかかりすぎてしまい適切でない。
- × b ペーパーサートとは紙人形劇のことであり、工場の従業員に対する健康教育の媒体として適切でない。
- c 成人に対するう蝕と歯周疾患の予防が中心となる。
- d 事前調査で対象者が関心をもっている話題を健康教育として話すことは適切である。

正解 c, d

【問題 80】 認知症高齢者の日常生活自立度において「何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。」のはどれか。

- a ランク I
- b ランク II
- c ランク III
- d ランク M

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

○ a 【認知症老人の日常生活自立度判定基準(厚生労働省の判断基準)】

ランク I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している。
ランク II	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。
ランク III	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々みられ、介護を必要とする。
ランク IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁にみられ、常に介護を必要とする。
ランク M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする。

正解 a

【問題 81】 口腔乾燥症を併発することが多いのはどれか。2つ選べ。

- a 胃潰瘍
- b 糖尿病
- c 脂質異常症
- d シェーグレン症候群

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、× c 胃潰瘍、脂質異常症で口腔乾燥は生じない。
- b 糖尿病の一般的症状として口渇がある。
- d シェーグレン症候群は唾液腺、涙腺の分泌不全とリウマチ性疾患を伴う自己免疫疾患である。唾液分泌機能低下により口腔乾燥を呈する。

正解 b、d

DH19:P734

【問題 82】 軽度の嚥下障害がある患者への誤嚥性肺炎の予防法で正しいのはどれか。2つ選べ。▶

- a 流動食に変更する。
- b 軽く下顎を挙上して飲み込む。
- c 食後は30分程度の座位を保持する。
- d 口腔内を吸引しながらブラッシングする。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a つぶし食やとろみ食が良い。
- × b 頸部を軽度前屈した姿勢が良い。
- c 食物の逆流予防のための援助であり、逆流性食道炎やダンピング症候群の予防としておこなわれる。しかし10分では短すぎで、30分程度必要である。
- d 唾液の誤嚥による口腔内細菌の感染を予防するため、口腔内の清潔を保つことが大切である。嚥下障害時のブラッシングでは、誤嚥予防のため吸引しながらおこなう必要がある。

正解 c、d

【問題 83】 12か月の男児。母親から食事に関する相談を受けた。身長と体重は身体発育曲線に沿って成長している。最近、食事について興味を持ち、自分で食べたがるようになったという。保護者への助言で適切なのはどれか。

- a スプーンの利用を推奨する。
- b こぼさない食べ方を推奨する。
- c 手づかみ食べのできる食事を推奨する。
- d 子どもだけを先に食べさせるように推奨する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、○ c 手でつかむことによって、食べ物の固さや温度などを確かめるとともに、どの程度の力で握れば適当であるかという感覚の体験を積み重ねるため、手づかみ食べを推奨する。
- × b この時期は、「自分でやりたい」という欲求が出てくるため、「自分で食べる」機能の発達を促す観点からも、エプロンやテーブルの下にシートを敷くなど汚れてもいい環境にして手づかみ食べを支援する。
- × d 家族一緒に楽しい食卓経験を推奨している。

正解 c

【問題 84】 周術期口腔管理の目的はどれか。

- a 咬合関係の改善
- b 手術範囲の確認
- c 挿管困難症例の評価
- d 術後呼吸器合併症の予防

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- d 周術期口腔管理は、術後の誤嚥性肺炎等の外科的手術後の合併症等の軽減を目的としている。近年、診療報酬改定で新設され、がん治療などを実施する医師との連携の下、患者の入院前から退院後を含めて歯科が一連の包括的な口腔機能管理を行うことを規定している。

正解 d

【問題 85】 口腔癌放射線治療の晩期障害はどれか。2つ選べ。

- a 口腔粘膜炎
- b 耳下腺腫脹
- c 下顎骨壊死
- d 口腔乾燥症

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 口腔粘膜炎は放射線治療開始後、早期に生じ、放射線治療終了後に回復する。
- × b 耳下腺が含まれる場合、早期に耳下腺に炎症性変化が起こり腫脹を生じる。
- c 下顎骨壊死は照射終了後、数年経ってから抜歯などをきっかけに生じることが多い。
- d 口腔乾燥症は慢性障害のため、晩期影響である。

正解 c、d

【問題 86】 保育園児への歯科保健指導に用いる媒体で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 紙芝居
- b ポスター
- c パンフレット
- d ペープサート

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a、○ d ペープサートとは紙人形劇のことである。人物の絵などを描いた紙に棒をつけたものを動かして演じるもので、紙芝居や低年齢児の媒体として適切である。
- × b、× c パンフレットやポスター、壁新聞は文字を用いた媒体であり、保育園児では理解するのが難しい。

正解 a、d

【問題 87】 介護保険制度で居宅サービスに含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a 訪問看護
- b 通所介護
- c 夜間対応型訪問介護
- d 認知症対応型通所介護

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 訪問看護は、居宅サービスである。
- b 通所介護は、居宅サービスである。
- × c 夜間対応型訪問介護は、地域密着型サービスである。
- × d 認知症対応型通所介護は、地域密着型サービスである。

正解 a、b

DH19:P183

【問題 88】 MNA でスクリーニングできるのはどれか。

- a 誤嚥
- b 肥満
- c 脱水
- d 低栄養

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 誤嚥のスクリーニングには、反復唾液嚥下テスト (RSST)、改訂水飲みテスト (MWST)、フードテストなどを用いる。
- × b 肥満のスクリーニングは、幼児の場合は Kaup 指数、学童の場合は Rohrer 指数、成人の場合は BMI (Body Mass Index) などを用いる。
- × c 脱水のスクリーニングには、体重減少率を用いる。
- d MNA[®] (Mini Nutritional Assessment[®]; 簡易栄養状況評価表) は、ネスレニュートリションが開発した高齢者 (65 歳以上) の栄養状態を簡単に把握するための医療・介護事業者向けツールである。MNA[®] のスクリーニング項目は、「食事摂取量減少」、「体重減少」、「自力歩行」、「精神的ストレス・急性疾患の経験」、「神経・精神的問題の有無」、「BMI」であり、回答の点数によって栄養状態 (良好か低栄養か) を判定する。一般的に、低栄養のスクリーニングに用いられているツールには、SGA (Subjective Global Assessment; 主観的包括的評価) がある。

正解 d

【問題 89】 18歳の女性。食生活指導を行うこととなった。身体活動レベルは「ふつう」である。1日の食事内容を表に示す。

	朝食	昼食	夕食
主食	食パン6枚切 1枚		ごはん 茶碗軽く1杯
副菜	ミニトマト 3個		きんぴらごぼう 小鉢1つ
主菜	目玉焼き 卵1個	ゆで卵 1個	鮭の塩焼き 切身1枚
果物		バナナ 1本	みかん 1個
乳製品	牛乳 コップ1杯	ヨーグルト 1個	

食事バランスガイドに示す食品群で不足しているのはどれか。2つ選べ。

- a 主食
b 副菜
c 果物
d 乳製品

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 主食の1日分の目安量は、5~7つ (SV) である。食パン6枚切1枚は1つ分、ごはん茶碗軽く1杯は1つ分であり、1日量としては不足している。
○ b 副菜の1日分の目安量は、5~6つ (SV) である。ミニトマト3個は1つ分、きんぴらごぼう小鉢1つは1つ分であり、1日量としては不足している。
× c 果物の1日分の目安量は、2つ (SV) である。バナナ1本は1つ分、みかん1個は1つ分であり、1日量として十分である。
× d 乳製品の1日分の目安量は、2つ (SV) である。牛乳コップ1杯は1つ分、ヨーグルト1個は1つ分であり、1日量として十分である。

	朝食	昼食	夕食	合計	目安(18歳女性、身体活動レベルふつう)
主食	1つ		1つ	2つ	5~7つ
副菜	1つ		1つ	2つ	5~6つ
主菜	1つ	1つ	2つ	4つ	3~5つ
果物		1つ	1つ	2つ	2つ
乳製品	1つ	1つ		2つ	2つ

正解 a、b

DH19:P554

【問題 90】 知的障害を伴わない脳性麻痺患者のう蝕予防で、本人に指導する内容として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a スクロースの摂取制限
b バス法による菌垢除去
c フッ化物含有ジェルの使用
d デンタルフロスによる菌垢除去

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 脳性麻痺患者はブラッシングが難しいため、スクロースの摂取制限によるう蝕予防が必要となる。
× b バス法は実行するのが難しいブラッシング法である。
○ c う蝕予防にはフッ化物含有ジェルの使用が有効である。
× d デンタルフロスによる菌垢除去は難しい。

正解 a、c

【問題 91】 摂食・嚥下過程と機能障害の症状との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 先行期 —— 鼻漏
b 準備期 —— 流涎
c 口腔期 —— 食物残留
d 咽頭期 —— 食べこぼし

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 先行期では、食物を見ても無反応、飲み込みが終了していないのに次々に食物を口に運ぶなどの症状がみられる。
○ b 準備期では、口腔内での食物残留や食物をこぼす、流涎などがみられる。
○ c 口腔期では、舌の動きが悪いことにより構音障害、呂律障害、頬内側への食物残留がみられる。
× d 咽頭期では、むせや咳込み、鼻漏がみられる。

正解 b、c

DH19:P613

【問題 92】 脳卒中後の口腔機能のリハビリテーションにおいて食物の形態を食べやすい形態にするのはどれか。

- a 治療的アプローチ
- b 代償的アプローチ
- c 経済的アプローチ
- d 心理的アプローチ

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 治療的アプローチは主疾患の改善を図るためのアプローチである。
- b 代償的アプローチは食物の形態を食べやすい形態に変更する、体位を工夫するなど代償的な方法を考えることである。
- × c 経済的アプローチは障害によって経済的基盤を喪失した場合に行うものである。
- × d 心理的アプローチは後遺症による心的障害に対して行うものである。

正解 b

【問題 93】 30秒間の反復唾液嚥下テストで正常な嚥下回数の判定基準はどれか。

- a 1回以上
- b 3回以上
- c 5回以上
- d 10回以上

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- b 30秒間に嚥下回数が3回以上であれば正常である。

正解 b

📖 DH19:P629

【問題 94】 摂食・嚥下障害に対する間接訓練の写真(別冊午後 No.19)を別に示す。

この訓練の目的はどれか。

- a 声帯の内転強化
- b 唾液分泌の促進
- c 嚥下反射の誘発
- d 舌骨喉頭挙上の改善

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 声門の閉鎖がうまくできない場合は、声帯の内転を強化する目的でプッシング・プリング訓練や息こらえ嚥下などの声門閉鎖訓練を行う。
- × b 唾液分泌の促進では、ガムラビング(歯肉マッサージ)を行う。
- c 写真は喉のアイスマッサージである。凍らせた綿棒で前口蓋弓や舌根部、咽頭後壁の粘膜面を軽くなでたり、押ししたりしてマッサージすることで、嚥下反射が誘発される。
- × d 舌骨喉頭挙上の改善はメンデルソン技法の目的である。

正解 c

No.19



📖 DH19:P621

【問題 95】 嚥下障害のある患者の食事で、「とろみ」をつけるために加えるのはどれか。

- a 卵白
- b 麦芽糖
- c 植物油
- d 片栗粉

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 卵白はタンパク質であり、水と結合しにくいので「とろみ」をつけることはできない。
- × b 麦芽糖は単糖であり、水と結合しただけでは「とろみ」をつけることはできない。
- × c 植物油は脂質であり、水と結合しにくいので「とろみ」をつけることはできない。
- d 片栗粉はデンプンであり、アミロースやアミロペクチンが食材中の水と結合して「とろみ」をつけることができる。

正解 d

【問題 96】 成人の検査値で基準値内にあるのはどれか。2つ選べ。

- a 血小板 50,000/ μ L
- b 赤血球数 450万/ μ L
- c 空腹時血糖 90mg/dL
- d ヘマトクリット 30%

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 血小板数は15万～40万/ μ Lが概ねの基準範囲である。
- b 赤血球数は400万～500万/ μ Lが基準範囲である。
- c 空腹時血糖(FBS)は70～109mg/dLが基準値である。糖尿病診療ガイドラインでは100mg/dL未満を正常値、100～109mg/dLを正常高値、110～125mg/dLを境界型、126mg/dL以上を糖尿病型としている。
- × d ヘマトクリット(Ht)は男性：40～50%、女性：35～45%が概ねの基準範囲である。血液に対する赤血球の占める体積の割合を示す。貧血診断の指標の1つである。

正解 b、c

【問題 97】 補綴装置作製のための印象採得を行った。印象体の写真(別冊午後 No.20)を別に示す。

印象体水洗後の消毒に用いるのはどれか。

- a 紫外線照射
- b エタノール浸漬
- c クロルヘキシジン浸漬
- d 次亜塩素酸ナトリウム水溶液浸漬

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 滅菌後の器具の保管に使用される。
- × b ガーゼなどにしみこませ、器具などを拭く用途で用いられる。
- × c 手指の消毒や器具の消毒に用いられる。
- d 写真はシリコン印象材であり、疎水性が強く模型に気泡が入りやすいのが特徴である。(印象後最初に行うのは印象材の洗浄であり、流水下で洗浄を行う。その後、薬剤による消毒を行う。使用される薬剤は2%グルタルアルデヒド溶液や1%次亜塩素酸ナトリウム溶液で30分～1時間浸漬することで感染を防止する。)次亜塩素酸ナトリウム水溶液浸漬は、有機質溶解作用、防臭作用、漂白作用があり、結核菌、芽胞を除く細菌、ウイルスなどほとんどすべての微生物に殺菌作用を示す。



正解 d

【問題 98】 高圧蒸気滅菌で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 経済性に優れる。
- b 芽胞に有効である。
- c 沸点は100℃である。
- d 過酸化水素を使用する。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 最も一般的な滅菌法で、機器と水だけで滅菌が可能のため、芽胞の殺滅は滅菌の指標でもある。経済性に優れる。
- b 滅菌とは芽胞も含めた全ての微生物を殺滅または除去することである。
- × c 沸点は121℃である。
- × d 過酸化水素はプラズマ滅菌に用いられる。真空中で過酸化水素分子に高周波放電を行うことで、プラズマを発生させ、プラズマ中に存在する紫外線やフリーラジカルにより微生物を殺滅する。

正解 a、b

DH19:P252

【問題 99】 象牙質切削において、スチールバーと比較した場合のEr:YAGレーザーの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 振動が大きい。
- b 疼痛が少ない。
- c 切削効率が高い。
- d 注水が必要である。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 振動が大きいのはマイクロモーターで使用するスチールバーである。
- b スチールバーは歯髄に対し振動や熱などの物理的刺激を与えるため疼痛が起きやすい。疼痛が少ないのはEr:YAGレーザーである。
- × c スチールバーは刃部により切削するため、切削効率が高いのは回転切削をするスチールバーである。
- d Er:YAGレーザーは使用時に注水が必要である。

正解 b、d

DH19:P659

〔問題 100〕 修復物の写真(別冊午後 No.21)を別に示す。

合着時に使用する器具はどれか。2つ選べ。

- a 光照射器
- b シェードガイド
- c ラバーダムクランプ
- d フェリアーのセパレーター

選択肢考察

- a 光照射器は、レジンセメントやボンディング材を重合させるために必要である。
- × b シェードテイキングは、印象採得時に行う。
- c ラバーダムによって術野を防湿することは確実な接着を得るために重要である。
- × d コンタクトポイントの調整時に歯間を離開する必要はない。

正解 a、c

▶ 歯科診療補助

No.21



〔問題 101〕 切削器具の写真(別冊午後 No.22)を別に示す。

この器具の用途はどれか。

- a 窩縁斜面の形成
- b 軟化象牙質の削除
- c 金合金インレー窩洞の形成
- d コンポジットレジンの形態修正

選択肢考察

- × a 窩縁斜面の付与にはスチール製の尖形裂溝状バー(横目無)または、カーボランダムポイントなどを用いる。
- × b 軟化象牙質の削除にはスチール製のラウンドバーを用いる。
- c スチール製の尖形裂溝状バー(横目付)はインレー窩洞の形成や窩洞の仕上げに用いる。
- × d スチールバーでコンポジットレジンは切削しない。

正解 c

▶ 歯科診療補助

No.22



DH19:P660

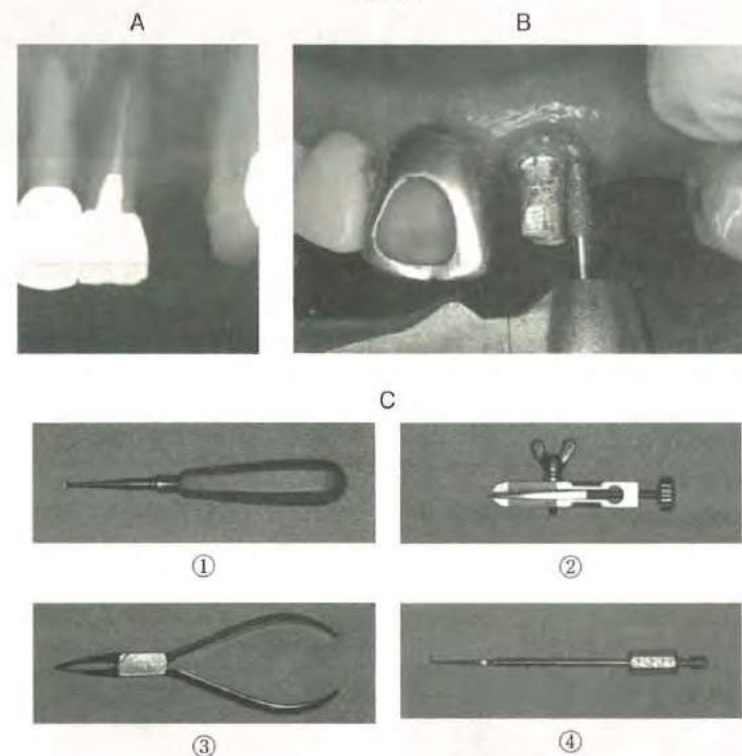
〔問題 102〕 74歳の男性。上顎前歯の欠損に伴う審美不良を主訴として来院した。欠損部をブリッジで最終補綴するにあたり、支台歯となる1のメタルコアに不適合が認められたため、これを除去し再築造することとした。初診時のエックス線写真(別冊午後 No.23A)、メタルコア除去のために行った形態修正中の写真(別冊午後 No.23B)及び器具の写真(別冊午後 No.23C)を別に示す。

メタルコアの除去に用いる器具はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.23



選択肢考察

- × a ①はリムービングドライバーである。クラウンに入れた切断線に差し込み“てこ”の作用を応用して撤去する。
- b ②は合釘除去器(リトルジャイアント®)である。根面より上に出ている部分を細く削り、器具の横に付いているナットを締めてメタルコアを固定後、器具上部に付いているネジを回して除去する。
- × c ③はハウプライヤーである。口腔内では、ワイヤーによる歯間分離や結紮に使用する。
- × d ④はインレークラウンリムーバーである。先端にクラウンの辺縁を引っかけて撤去方向に力を加えて撤去する。

正解 b

〔問題 103〕 補綴治療に使用する器具の写真(別冊午後 No.24)を別に示す。

この器具を用いて行うのはどれか。

- a 筋圧形成
- b 垂直的顎位の設定
- c 仮想咬合平面の設定
- d フェイスボウトランスファー

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- c 写真は咬合平面ガイドスパチュラである。これは咬合採得における仮想咬合平面を設定する際に使用する器具である。

正解 c

DH19:P671

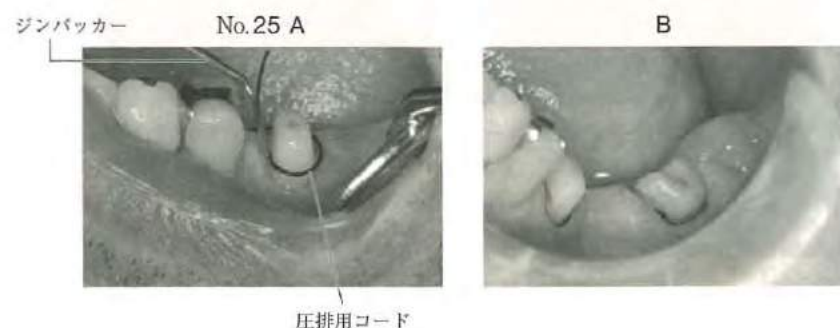


〔問題 104〕 65歳の男性。咀嚼困難を主訴として来院した。全部金属冠の固定性ブリッジを製作することになった。治療中のある操作を行っている口腔内写真(別冊午後 No.25 A、B)を別に示す。

写真Bの次に行うのはどれか。

- a 圧排用コードの除去
- b 対合歯のアルジネート印象
- c 支台歯周囲へ精密印象材の注入
- d 印象材を盛った歯列トレーの圧接

▶ 歯科診療補助



選択肢考察

- a 歯肉圧排が終了しているため、印象採得直前に圧排用コードを除去し、精密印象を行う。
- × b 支台歯の精密印象を行うための操作であるため、直後に対合歯の印象は行わない。
- × c 圧排用コードを除去した直後に支台歯周囲へ精密印象材を注入する。
- × d 支台歯周囲へ精密印象材を注入した直後に印象材を盛った歯列トレーを歯列全体に圧接する。

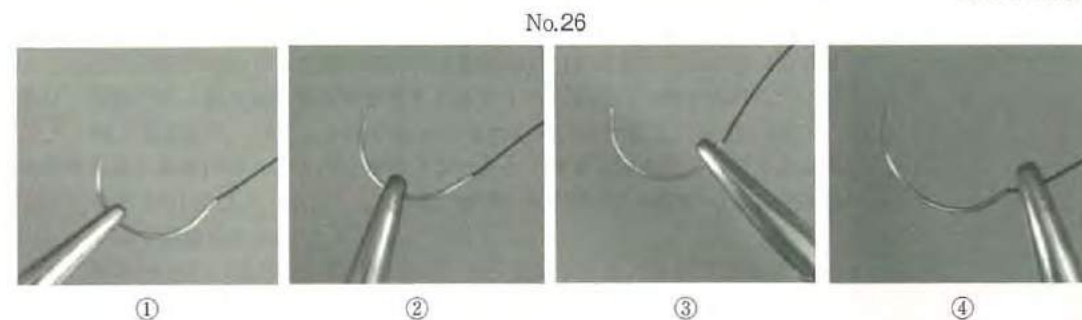
正解 a

〔問題 105〕 持針器の写真(別冊午後 No.26)を別に示す。

適切な把持はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助



選択肢考察

- b 針糸接合部の端から針先までの長さ1/3~1/2の部分で針を持針器で把持する。

正解 b

〔問題 106〕 上顎顎外固定装置のフェイスボウの調整に用いるのはどれか。

- a ホウのプライヤー
- b ヤングのプライヤー
- c ユーティリティプライヤー
- d ツイードのアーチベンディングプライヤー

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a ホウのプライヤーはワイヤーの着脱や結紮に使用するプライヤーであり、フェイスボウの屈曲には適していない。
- b ヤングのプライヤーは矯正装置の切歯唇側線、クラスプ、フェイスボウなど、太いワイヤーの屈曲に適している。
- × c ユーティリティプライヤーはワイヤーの着脱などに使用するプライヤーであり、フェイスボウの屈曲には適していない。
- × d ツイードのアーチベンディングプライヤーは角ワイヤーの屈曲やトルクの調整に使用するプライヤーであり、フェイスボウの屈曲には適していない。

正解 b

DH19:P706

[問題 107] ラバーダム防湿下で小児の治療を行う際、注意すべき習癖はどれか。

- a 吸指癖
- b 口呼吸
- c 咬爪癖
- d 舌突出癖

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a、× c 吸指癖は指を吸引する口腔習癖で咬爪癖は児童に多く、特に神経質な小児に多いといわれる口腔習癖である。どちらもラバーダム防湿時に特に注意を要する習癖ではない。
- b 口呼吸の患児にラバーダム防湿を行い、口をシートで覆うと呼吸が困難になってしまうため、注意が必要である。
- × d 舌突出癖は嚥下の際に舌を前方に突き出す習癖である。この習癖があると、切削器具で舌を損傷する可能性があるため、予防としてラバーダム防湿は有効である。

正解 b

[問題 108] 自動体外式除細動器を使用するのはどれか。

- a 心室細動
- b 心房細動
- c 期外収縮
- d 過換気症候群

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 心室細動は AED の適応症である。心室細動とは、心室性の異所性興奮が心室内の随所に無秩序に頻発するために、心室筋は部分的に無秩序に収縮し、これを反復持続する結果、心室全体としての有効な心収縮は不能となる致死的状态のことである。
- × b 心房細動とは、まったく不規則な心房調律であり、心房全体としてまとまった収縮を欠如した状態をいう。AED の適応症ではない。
- × c 期外収縮は不整脈のひとつである。多くの場合、経過観察となる。AED の適応症ではない。
- × d 過換気症候群は、発作性の過呼吸と呼吸困難、テタニー様症状、意識障害、動悸などの多彩な症状を呈する症候群である。

正解 a

[問題 109] 画像検査に用いる造影剤の写真(別冊午後 No.27)を別に示す。

- 用いる検査はどれか。
- a 造影 CT
 - b 嚥下造影
 - c 造影 MRI
 - d 唾液腺造影

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 造影 CT にはヨード製剤が用いられ、造影剤はシリンジ状で供給され、専用の注入器に装着し使用する。
- b 嚥下造影にはバリウムが用いられ、その都度、水や食品に混ぜて用いる。
- × c 造影 MRI にはガドリニウム製剤が用いられ、アンプルあるいはシリンジ状で供給される。
- × d 唾液腺造影にはヨード製剤が用いられ、アンプル状の造影剤を適量使用する。

正解 b

No.27



[問題 110] 心肺停止に陥った患者に AED を装着したところ「ショックは不要です」というアナウンスが流れた。

- 次に行うべき対応はどれか。
- a 脈の確認
 - b 人工呼吸
 - c 胸骨圧迫
 - d 意識の確認

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- c 2015 年版の AHA (American Heart Association) による BLS (Basic Life Support) ガイドラインによれば、倒れている成人の傷病者を発見した場合には、まず、意識の確認と呼吸の確認を行う。この際、意識がないか、呼吸が停止しているもしくは死戦期呼吸をしている場合には、直ちに一次救命処置を始める。処置を始めるにあたって、近くにいる人に救急隊の要請と AED を持ってくるよう要請を行う。なお、BLS の訓練を受けていない者では、脈の確認、人工呼吸の必要はない。次に、胸の真ん中に手を置き、1 分間に 100 回以上のテンポで、少なくとも 5cm 程度沈むように、胸骨圧迫を行う。胸骨圧迫の中断は 10 秒以内とし、人工呼吸が不可能な場合は行わなくてもよい。人工呼吸が可能な場合には胸骨圧迫と人工呼吸の比率は 30 : 2 (成人の場合は一人法も二人法も同じ) である。AED 到着後はその装着を迅速に行う。AED の自動解析中は患者に触れてはいけない。AED の自動解析後、電気ショックが必要であればいい、その後は AED の指示に従う。AED が「ショックは不要です」というアナウンスが流れた場合、通常続けて「胸骨圧迫を続けてください。」という主旨のアナウンスが流れる。この場合、救急隊の到着まで、胸骨圧迫を(人工呼吸を行える場合には人工呼吸も)継続する。

正解 c

DH19:P686